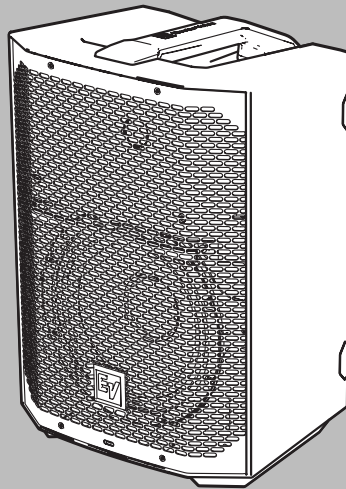


EVERSE 8

EVERSE8-US, EVERSE8-EU, EVERSE8-W



目次

1	安全性	4
1.1	安全に関する重要事項	4
1.2	バッテリーと内部充電器の安全規則	5
1.3	吊り下げ	7
1.4	FCC に関する情報	8
1.5	簡易適合宣言書 (sDoC)	8
1.6	ご注意	11
1.7	認定規格	11
1.8	注意事項	13
2	製品説明	15
2.1	概要情報	15
2.2	システムの特徴	15
2.3	クイックセットアップ	16
3	QuickSmart Mobile アプリのペアリング	18
4	操作	21
4.1	バッテリーパックの取り付けと充電	21
4.2	耐候性	22
4.3	耐候性入カカバーの取り付け	25
4.4	スタンドまたはポールマウントへの設置	26
4.5	フロアモニターとキックバック	28
5	アンプ DSP	30
5.1	アンプ DSP コントロール	30
5.2	システムの状態	31
5.3	DSP コントロール	32
5.3.1	スピーカーの DSP コントロールメニュー	33
6	入力とミキサーの操作	44
6.1	INPUT DSP コントロールメニュー	44
7	推奨構成	49
7.1	モバイルデバイスとの接続	49
7.2	ストリートパフォーマンス	50
7.3	Bluetooth True Wireless Stereo (TWS)	51
7.4	モニターとして使用	52
8	トラブルシューティング	53
9	テクニカル データ	56
9.1	寸法	57
9.2	周波数特性	57
10	付録	58
10.1	エフェクト (FX) リスト	58

1

安全性

1.1

安全に関する重要事項

 警告: 火災や感電の危険性を避けるため、本機器を雨や水蒸気に長期間さらすことのないようにしてください。 AVIS: RISQUE DE CHOC ELECTRIQUE, NE PAS OUVRIR. 警告: 電源プラグまたは AC コンセントが遮断装置として使用されます。遮断装置はすぐに操作可能な状態を保ちます。 警告: 保護アースが接続された電源ソケットにのみ接続してください。 警告: 感電の危険性を避けるため、カバー(および背面)は外さないでください。内部にユーザーが修理可能な部品はありません。修理については、弊社販売代理店に確認してください。		正三角形に電光と矢印がある記号は、製品のケース内に絶縁されていない「危険電圧」が存在し、感電の危険があることを警告するものです。
		正三角形に感嘆符のある記号は、本装置の取扱説明書に記載されている操作と保守(整備)の重要な指示への注意を喚起するものです。
		正三角形にアスタリスクのある記号は、本スピーカー・システムに関連する装置とハードウェアの必要な設置と取外しの指示を知らせるものです。

1. 次の重要事項を確認してください。
2. 次の重要事項を遵守してください。
3. すべての警告に留意してください。
4. すべての重要事項を遵守してください。
5. このマニュアルで明確に記載されている場合を除き、この装置は水の近くで使用しないでください。
6. 本装置は乾いた布以外で清掃しないでください。
7. 通気口をふさがないでください。メーカーの説明書に従って設置してください。
8. ラジエータ、暖気吹き出し口、ストーブ、その他の熱発生源(アンプを含む)の近くに本装置を設置しないでください。
9. 安全を目的として採用されている極性プラグやアース付きプラグを正しく使用してください。有極プラグには幅の違う2枚のブレードがあります。アース・プラグには2枚のブレードと1つのアース棒端子があります。広いブレードまたは3本目の棒端子は安全のためのものです。付属ケーブルのプラグがコンセントに合わない場合は、電気工事に依頼し古いコンセントを新しいものと交換してください。
10. 電源コードを踏んだり、プラグ、コンセント、装置から出た部分がはさまれたりしないように保護してください。
11. メーカー指定の付属品やアクセサリを使用してください。
12. カート、スタンド、三脚、ブラケット、テーブルはメーカー指定のもの、または装置と同時販売されたものを使用してください。カートを使用する場合は、装置をカートに載せて移動中に転倒して、怪我をすることがないように注意してください。
13. 雷が鳴り出した時や、長期間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
14. 保守整備は資格を持っている担当者に相談してください。電源コードやプラグの破損、装置への液体のこぼれ、物の落下、雨または湿気の浸入、装置の不適切な操作、落下など、何らかの原因で装置が破損した場合は、修理を依頼してください。
15. 火のついたロウソクなど、直火の熱源を装置の上に置かないでください。

16. 火災や感電の危険を避けるため、このマニュアルで明確に記載されている以外の方法で、この装置を雨や湿気にさらさないでください。このマニュアルに記載されているように、付属のウェザーカバーまたはオプションのレインカバーがない状態で、装置に水滴が落ちたり、水が飛び散ったりしないようにしてください。花瓶など、液体が入ったものを装置の上に置かないでください。
 17. 通気口をふさがないでください。メーカーの説明書に従って設置してください。
 18. 十分な通気を確保できるように、装置の周囲に最低 60 cm (2 ft) の間隔をあけてください。
 19. 新聞やテーブルクロス、カーテンなどで排気口がふさがれ、排気が妨げられないようにしてください。
 20. 本装置を AC 電源から完全に切断するには、電源プラグをコンセントから抜いてください。
 21. 電源コードのオプション:
 - 電源プラグ**
 - 安全機関に登録されている 3 ピン電源プラグを使用してください。
 - EN 50075/IEC 60083規格C5 (シンガポールの消費者保護 (安全要件) 登録制度情報の付録 S に記載) の認証を受けた¹、2 ピン電源プラグを使用してください。
 - フレキシブルコード**
 - 関連するIEC規格の認定を受けた¹、二重絶縁フレキシブルコードを使用してください。
 - アプライアンスコネクタ**
 - IEC 60320の認定を受けた¹、アプライアンスコネクタを使用してください。
- ¹IECEE CB スキームのメンバーによって認定。

**警告!**

未認証のアクセサリや付属品を、本製品を含む Electro-Voice 製品とともに使用する行為については、ユーザー自身が責任を負うものとします。未認証のアクセサリや付属品を使用した場合、製品の誤作動や死傷事故を招く可能性があります。
ユーザー自身がすべての責任を負うものとし、保証が無効になる場合があります。

1.2

バッテリーと内部充電器の安全規則

1. 取扱説明書は保管しておいてください。このマニュアルには、Electro-Voice EVERSE スピーカーの安全性と操作に関する重要事項が含まれています。
2. Electro-Voice EVERSE 内部バッテリー充電器を使用してバッテリーを再充電する前に、(1) バッテリー、および (2) EVERSE スピーカーの**すべての重要事項と警告メッセージを読んでください**。
3. 怪我の危険を避けるために、EVERSE スピーカーで使用するよう指定された Electro-Voice バッテリーパックのみを充電してください。他の種類のバッテリーを充電すると、破裂して、怪我や物的損害を引き起こす可能性があります。
4. バッテリーパックは、0 °C (+32 °F) 以上、35 °C (+95 °F) 未満の環境で充電してください。直射日光の当たる場所での充電は避けてください。スピーカーとバッテリーパックは、45 °C (113°F) を超えない場所に保管してください。これは、バッテリーセルの深刻な損傷を防ぐために重要です。
5. Electro-Voice が指定する方法で承認されたアクセサリを使用する場合を除き、湿気の多い場所や濡れた場所でバッテリーを充電したり、主電源に接続した状態でスピーカーを雨や雪にさらしたりしないでください。バッテリー充電器に水が入ると、感電や火災の原因となることがあります。

**注意!**

濡れた環境では、付属のウェザーカバーや Electro-Voice 認定のレインカバーアクセサリを必ず使用してください。

6. バッテリーパックまたは EVERSE スピーカーを水没させないでください。また、いかなる液体も侵入しないようにしてください。腐食性または導電性がある液体（海水、工業用化学薬品、漂白剤を含む製品など）が侵入すると、回路がショートして、火災、怪我、物的損害が発生する可能性があります。
7. 極端な使用条件や温度条件では、バッテリーの液漏れが発生する可能性があります。バッテリー液が皮膚や目に触れないようにしてください。バッテリー液には腐食性があり、皮膚組織に化学やけどを引き起こす可能性があります。液体が皮膚に付着した場合は、石鹸と水ですばやく洗い落としてください。液体が目に入った場合は、最低 10 分間水で洗い流し、医師の診察を受けてください。
8. バッテリーパックを使用または充電する際は、EVERSE スピーカーを可燃性物質が近くにない不燃性の平らな面に設置してください。カーペットやその他の断熱性のある面に設置すると、適切な空気循環が妨げられ、充電器とバッテリーパックの過熱を引き起こす可能性があります。スピーカーまたはバッテリーパックから煙が出たり、一部が溶けたりした場合は、すぐにスピーカーのプラグを抜いて、バッテリーパックまたはスピーカーの使用を中止し、すぐにカスタマーサービスに連絡してください。
9. コードは踏まれないように設置し、人がつまずかないようにしてください。破損したり、負荷がかかったりしないようにしてください。破損したプラグやコードは、感電や火災の原因になります。
10. EVERSE スピーカーを電源から外す際は、コードではなくプラグを引っ張ってください。コードまたはプラグが破損している EVERSE スピーカーは使用せずに、すぐに交換してください。破損したプラグやコードは、感電や火災の原因になります。
11. バッテリーパックのケースにひびが入っているか、明らかに破損している場合は、バッテリーパックを EVERSE スピーカーに挿入しないでください。破損したバッテリーパックを使用すると、感電や火災の原因となることがあります。
12. 強くぶつけたり、落下させたりして、EVERSE スピーカーが破損した場合、分解や操作をしないでください。不適切な再組立てや破損は、感電や火災の原因となる可能性があります。
13. 毎回の使用前に、EVERSE スピーカー、ケーブル、プラグ、バッテリーパックを確認してください。破損が見つかった場合は使用しないでください。バッテリーパックは、自分で開けたりせず、Electro-Voice サービスセンターに持ち込んでください。オリジナルの交換部品のみを使用してください。不適切な再組立てや破損した製品の使用は、感電や火災の原因となる可能性があります。
14. Electro-Voice が推奨または販売するアクセサリやバッテリーのみを使用してください。推奨されていないアクセサリを使用すると、感電や火災の原因となる可能性があります。
15. EVERSE スピーカーは、電源から外した状態で保管し、定期的にメンテナンスやクリーニングを行ってください。このような予防安全対策により、感電や火災の危険性が減少します。
16. 充電後の動作時間に大幅な低下が見られる場合は、バッテリーパックを交換してください。バッテリーパックの寿命が近づいている可能性があります。

バッテリーに関する注意事項

警告!



バッテリーをスピーカーに取り付けていないときは、金属に近づけないでください。たとえば、バッテリーを釘、ネジ、鍵などと一緒に工具箱やポケットに入れないでください。ショートして、火災や怪我の原因となる可能性があります。

バッテリーを火の中に入れてください。または、高温環境に置かないでください。爆発する恐れがあります。

警告!



バッテリーを分解したり、バッテリー端子から出ている部品を取り外したりしないでください。火災や怪我の原因となることがあります。ショートを防ぐため、廃棄する前に、露出した端子部分を厚めの絶縁テープで覆ってください。

**警告!**

ユーザーマニュアルに従って、事前に付属のウェザーカバーまたは Electro-Voice 認定のレインカバーを適切に取り付けていない限り、EVERSE スピーカーは湿気の多い場所や濡れた場所で使用しないでください。

EVERSE スピーカーに接続されたすべての機器、ケーブル、楽器が、適切に湿気から保護され、漏電遮断器により接地されていること、および各メーカーの指示に従って適切に使用されていることを必ず確認してください。

**注記!**

Electro-Voice バッテリーパック

Electro-Voice が販売したバッテリーパック以外を使用すると、保証は無効になります。

**注記!**

バッテリー保護モード

リチウムイオンバッテリーは、「バッテリー保護モード」により、深放電から保護されています。バッテリーが空の場合、EVERSE スピーカーはバッテリー保護モードに入ります。バッテリーは部分的に充電された状態で提供されます。スピーカーを初めて使用する前に、バッテリーパックをフル充電してください。リチウムイオンバッテリーは、どのようなタイミングで充電しても、寿命が縮まることはなく、充電を途中で中断しても、バッテリーが損傷することはありません。

**注記!**

バッテリーの廃棄

バッテリーを家庭ごみで廃棄しないでください。バッテリーは適切な収集場所で廃棄してください。リチウムバッテリーの場合、バッテリーの端子部分を絶縁テープなどの絶縁素材で覆ってください。リチウムイオンバッテリーは、環境に配慮した方法で収集、リサイクル、または廃棄する必要があります。

**警告!**

航空輸送に関する警告

リチウムイオンバッテリーパック機器を使用する際は、航空会社の輸送手荷物規制に従ってください。

**警告!**

爆発またはやけどの危険

本装置には、リチウムイオンバッテリーパックが含まれています。火災ややけどの危険を減らすために、バッテリーパックを開けたり、分解したり、修理したりしないでください。押しつぶしたり、穴を開けたり、外部接点をショートさせたり、火や水の中に捨てたりしないでください。本装置は、0 °C (32 °F) から 35 °C (95 °F) の温度環境でのみ使用してください。リサイクルまたは適切に廃棄してください。

1.3

吊り下げ

**警告!**

このマニュアルまたは Electro-Voice 設置ガイドに明確に説明されている以外の方法で、この製品を吊り下げないでください。ハンドルを使って、スピーカーを吊り下げないでください。Electro-Voice スピーカーのハンドルは、搬送時に一時的に使用することのみを用途としています。ファイバロープ、ワイヤロープ、ケーブル、その他の資材をハンドルに取り付けてスピーカーを吊り下げることはできません。

1.4 FCC に関する情報

重要: 本装置を改造しないでください。製造元から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、FCC からユーザーに付与された本装置の使用権限が無効になることがあります。



注記!

この製品は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタルデバイスの制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本製品は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。ただし、特定の地域では障害が発生しない保証はありません。

本製品がラジオやテレビの受信に障害を与えていないか、またはラジオやテレビ、通信機器から受信障害を受けていないかどうかは、本製品の電源をオン、オフすることで判断できます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本製品と受信機の距離を離す。
- 本製品と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店またはラジオ、TV、通信機器の専門技術者に問い合わせる。

本装置は、FCC および IC によって認可されています (FCC ID:ESVEVERSE、IC:1249A-EVERSE8)。

規制遵守の責任者から明確に許可を得ないで変更または改造した場合、本装置の使用権限が無効になることがあります。

本装置の設置および操作を行う際は、ラジエータと人体との間を 20 cm 以上離して作業する必要があります。

このデバイスは、カナダ産業省のライセンス適用免除 RSS 標準に適合しています。操作は次の 2 つの条件に規制されます。

- (1) 電波障害を起こさないこと。
- (2) 誤動作の原因となる電波障害を含む、すべての電波障害を受け入れること。

Le présent appareil est conforme aux CNR d'Industrie Canada applicables aux appareils radio exempts de licence. L'exploitation est autorisée aux deux conditions suivantes:

- (1) l'appareil ne doit pas produire de brouillage, et
- (2) l'utilisateur de l'appareil doit accepter tout brouillage radioélectrique subi, même si le brouillage est susceptible d'en compromettre le fonctionnement.

カナダ産業省の規制の下では、無線送信機は、カナダ産業省によって無線送信機向けに認定されたタイプのアンテナと最大ゲイン (またはそれ以下) を使用してのみ運用できます。他ユーザーへの潜在的な無線干渉を減らすには、等価等方放射電力 (EIRP) が正常な通信に必要な値を超えないように、アンテナのタイプとゲインを選択する必要があります。

Conformément à la réglementation d'Industrie Canada, le présent émetteur radio peut fonctionner avec une antenne d'un type et d'un gain maximal (ou inférieur) approuvé pour l'émetteur par Industrie Canada. Dans le but de réduire les risques de brouillage radioélectrique à l'intention des autres utilisateurs, il faut choisir le type d'antenne et son gain de sorte que la puissance isotrope rayonnée équivalente (p.i.r.e.) ne dépasse pas l'intensité nécessaire à l'établissement d'une communication satisfaisante.

1.5 簡易適合宣言書 (sDoC)

BG	С настоящото Bosch Security Systems, LLC декларира, че този тип радиосъоръжение EVERSE8-EU, EVERSE8-W е в съответствие с Директива 2014/53/ЕС. Цялостният текст на ЕС декларацията за съответствие може да се намери на следния интернет адрес: www.electrovoice.com
CS	Tímto Bosch Security Systems, LLC prohlašuje, že typ rádiového zařízení EVERSE8-EU, EVERSE8-W je v souladu se směrnicí 2014/53/EU. Úplné znění EU prohlášení o shodě je k dispozici na této internetové adrese: www.electrovoice.com
DA	Hermed erklærer Bosch Security Systems, LLC , at radioudstyrstypen EVERSE8-EU, EVERSE8-W er i overensstemmelse med direktiv 2014/53/EU. EU-overensstemmelseserklæringens fulde tekst kan findes på følgende internetadresse: www.electrovoice.com
DE	Hiermit erklärt Bosch Security Systems, LLC , dass der Funkanlagentyp EVERSE8-EU, EVERSE8-W der Richtlinie 2014/53/EU entspricht. Der vollständige Text der EU-Konformitätserklärung ist unter der folgenden Internetadresse verfügbar: www.electrovoice.com
EL	Με την παρούσα ο/η Bosch Security Systems, LLC , δηλώνει ότι ο ραδιοεξοπλισμός EVERSE8-EU, EVERSE8-W πληροί την οδηγία 2014/53/ΕΕ. Το πλήρες κείμενο της δήλωσης συμμόρφωσης ΕΕ διατίθεται στην ακόλουθη ιστοσελίδα στο διαδίκτυο: www.electrovoice.com
EN	Hereby, Bosch Security Systems, LLC declares that the radio equipment type EVERSE8-EU, EVERSE8-W is in compliance with Directive 2014/53/EU and the relevant statutory requirements. The full text of the EU declaration of conformity and the UK declaration of conformity are available at the following internet address: www.electrovoice.com .
ES	Por la presente, Bosch Security Systems, LLC declara que el tipo de equipo radioeléctrico EVERSE8-EU, EVERSE8-W es conforme con la Directiva 2014/53/UE. El texto completo de la declaración UE de conformidad está disponible en la dirección Internet siguiente: www.electrovoice.com .
ET	Käesolevaga deklareerib Bosch Security Systems, LLC , et käesolev raadioseadme tüüp EVERSE8-EU, EVERSE8-W vastab direktiivi 2014/53/EL nõuetele. ELi vastavusdeklaratsiooni täielik tekst on kättesaadav järgmisel internetiaadressil: www.electrovoice.com
FI	Bosch Security Systems, LLC vakuuttaa, että radiolaitetyypit EVERSE8-EU, EVERSE8-W on direktiivin 2014/53/EU mukainen. EU-vaatimustenmukaisuusvakuutuksen täysimittainen teksti on saatavilla seuraavassa internetosoitteessa: www.electrovoice.com
FR	Le soussigné, Bosch Security Systems, LLC , déclare que l'équipement radioélectrique du type EVERSE8-EU, EVERSE8-W est conforme à la directive 2014/53/UE. Le texte complet de la déclaration UE de conformité est disponible à l'adresse internet suivante: www.electrovoice.com
HR	Bosch Security Systems, LLC ovime izjavljuje da je radijska oprema tipa EVERSE8-EU, EVERSE8-W u skladu s Direktivom 2014/53/EU. Cjeloviti tekst EU izjave o sukladnosti dostupan je na sljedećoj internetskoj adresi: www.electrovoice.com

HU	Bosch Security Systems, LLC igazolja, hogy a EVERSE8-EU, EVERSE8-W típusú rádióberendezés megfelel a 2014/53/EU irányelvnek. Az EU-megfelelőségi nyilatkozat teljes szövege elérhető a következő internetes címen: www.electrovoice.com
IT	Il fabbricante, Bosch Security Systems, LLC , dichiara che il tipo di apparecchiatura radio EVERSE8-EU, EVERSE8-W è conforme alla direttiva 2014/53/UE. Il testo completo della dichiarazione di conformità UE è disponibile al seguente indirizzo Internet: www.electrovoice.com
LT	Aš, Bosch Security Systems, LLC , patvirtinu, kad radijo įrenginių tipas EVERSE8-EU, EVERSE8-W atitinka Direktyvą 2014/53/ES. Visas ES atitikties deklaracijos tekstas prieinamas šiuo interneto adresu: www.electrovoice.com
LV	Ar šo Bosch Security Systems, LLC deklarē, ka radioiekārta EVERSE8-EU, EVERSE8-W atbilst Direktīvai 2014/53/ES. Pilns ES atbilstības deklarācijas teksts ir pieejams šādā interneta vietnē: www.electrovoice.com
MT	B'dan, Bosch Security Systems, LLC , niddikjara li dan it-tip ta' tagħmir tar-radju EVERSE8-EU, EVERSE8-W huwa konformi mad-Direttiva 2014/53/UE. It-test kollu tad-dikjarazzjoni ta' konformità tal-UE huwa disponibbli f'dan l-indirizz tal-Internet li ġej: www.electrovoice.com
NL	Hierbij verklaar ik, Bosch Security Systems, LLC , dat het type radioapparatuur EVERSE8-EU, EVERSE8-W conform is met Richtlijn 2014/53/EU. De volledige tekst van de EU-conformiteitsverklaring kan worden geraadpleegd op het volgende internetadres: www.electrovoice.com
PL	Bosch Security Systems, LLC niniejszym oświadczam, że typ urządzenia radiowego EVERSE8-EU, EVERSE8-W jest zgodny z dyrektywą 2014/53/UE. Pełny tekst deklaracji zgodności UE jest dostępny pod następującym adresem internetowym: www.electrovoice.com
PT	O(a) abaixo assinado(a) Bosch Security Systems, LLC declara que o presente tipo de equipamento de rádio EVERSE8-EU, EVERSE8-W está em conformidade com a Diretiva 2014/53/UE. O texto integral da declaração de conformidade está disponível no seguinte endereço de Internet: www.electrovoice.com
RO	Prin prezenta, Bosch Security Systems, LLC declară că tipul de echipamente radio EVERSE8-EU, EVERSE8-W este în conformitate cu Directiva 2014/53/UE. Textul integral al declarației UE de conformitate este disponibil la următoarea adresă internet: www.electrovoice.com
SK	Bosch Security Systems, LLC týmto vyhlasuje, že rádiové zariadenie typu EVERSE8-EU, EVERSE8-W je v súlade so smernicou 2014/53/EÚ. Úplné EÚ vyhlásenie o zhode je k dispozícii na tejto internetovej adrese: www.electrovoice.com
SL	Bosch Security Systems, LLC potrjuje, da je tip radijske opreme EVERSE8-EU, EVERSE8-W skladen z Direktivo 2014/53/EU. Celotno besedilo izjave EU o skladnosti je na voljo na naslednjem spletnem naslovu: www.electrovoice.com
SV	Härmed försäkrar Bosch Security Systems, LLC att denna typ av radioutrustning EVERSE8-EU, EVERSE8-W överensstämmer med direktiv 2014/53/EU. Den fullständiga texten till EU-försäkran om överensstämmelse finns på följande webbadress: www.electrovoice.com

ヨーロッパの場合:

動作周波数帯 2400 ～ 2483.5 MHz。

最大送信電力 20 dBm EIRP 未満。

1.6**ご注意**

	Electro-Voice スピーカーを晴れた日に屋外で使用する場合は、日陰または覆いのある場所に配置してください。本スピーカーのアンプには、温度が非常に高くなったときに本スピーカーの電源を一時的にオフにする保護回路が内蔵されています。本スピーカーを直射日光に当てると、この動作が発生する可能性があります。
	Electro-Voice スピーカーは、0 °C (32 °F) 以下または +35 °C (95 °F) を超える環境で使用しないでください。
	Electro-Voice スピーカーは、カバーエリアの範囲内にいる人が永続的な難聴になるほどの音圧レベルを簡単に生成できます。長時間 90 dB を超える音圧レベルにさらされないように注意してください。
	EVERSE バッテリーは、-20 °C (-4 °F) 以下または +45°C (113 °F) を超える環境で保管しないでください。

1.7**認定規格****アルゼンチン:**

証明書番号: RA 4184063 E

ブラジル:

Após uma perturbação da rede elétrica, o EVERSE pode entrar em estado de segurança. Neste caso, você deve desligar e ligar o dispositivo novamente.

Este equipamento não tem direito à proteção contra interferência prejudicial e não pode causar interferência em sistemas devidamente autorizados.

Para mais informações, consulte o site da ANATEL: www.anatel.gov.br.

カンボジア:

TRC識別子: RF-TA-2022-0373

マレーシア:



メキシコ:

“La operación de este equipo está sujeta a las siguientes dos condiciones: (1) es posible que este equipo o dispositivo no cause interferencia perjudicial y (2) este equipo o dispositivo debe aceptar cualquier interferencia, incluyendo la que pueda causar su operación no deseada”



IFETEL ID: ROELEV22-22223

パキスタン:



大韓民国:



기자재명칭:

특정소출력 무선기기(무선데이터통신시스템용 무선기기)

モデル名: EVERSE 8

定格: AC 100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz、1000 W

수입업체 (상호) 명: 로버트보쉬코리아 (유)

제 조자: Bosch Security Systems, LLC.

제 조연월: 별도표기

제 조국: 중국

A/S: 02-702-2846

해당 무선설비는 운용 중 전파혼신 가능성이 있음

해당 무선설비는 전파혼신 가능성이 있으므로 인명안전과 관련된 서비스는 할 수 없습니다.

タイ:



アラブ首長国連邦:



TDRA - UNITED ARAB Emirates

Dealer ID: DA45733/15
TA RTE: ER10360/22
Model Name: EVERSE 8
Product Type: Bluetooth



1.8

注意事項

著作権および免責事項

All rights reserved. 形態や媒体を問わず、電子的、機械的、フォトコピー、録画、またはその他の方法で、発行者の書面による許可なく本書の内容の一部またはすべてを複製または転送することは禁じられています。情報の転載および引用許可を申請する場合は、Electro-Voiceまでご連絡ください。仕様、データおよび図を含む本マニュアルのすべての内容は、予告なく変更されることがあります。



注記!

Bluetooth® をご利用いただけない国があります。

詳細については、Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、Bosch Security Systems, LLC はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。他の商標および商標名は、それぞれの所有者に帰属します。

輸入業者およびアフターサービス**中国**

Bosch (Shanghai) Security Systems Ltd.
333 Fuquan Road North IBP
Changning District Shanghai
200335 P.R.中国

博世（上海）安保系统有限公司
上海市长宁区虹桥临空经济园区、福泉北路333号

欧州

Bosch Sicherheitssysteme GmbH
Robert-Bosch-Ring 5
85630 Grasbrunn
ドイツ

メキシコ

Robert Bosch de R.L de C.V.
Calle Robert Bosch No. Ext.405
C.P.50071
Zona industrial Toluca
メキシコ
電話: +52 722 279 2300

英国

Robert Bosch Ltd.
Broadwater Park
North Orbital Road
Uxbridge UB9 5HJ
英国

2 製品説明

Electro-Voice スピーカーをお買い上げいただき、ありがとうございます。本書をお読みにになり、Electro-Voice スピーカー・システムに組み込まれた機能を理解し、その性能をご活用ください。EVERSE 8 は、コンパクトで使いやすい、バッテリー駆動の多用途スピーカーシステムです。プロフェッショナルレベルのパフォーマンスを提供し、頑丈な耐候性エンクロージャーに収められています。EVERSE 8 は、音楽演奏、音声増強、オーディオ再生において、真にプロフェッショナルな性能を提供します。EVERSE 8 では、技術の進歩とともに Electro-Voice と Dynacord の数十年にわたるプロ仕様の音響および電子機器の専門知識を活用し、真にポータブルなワイヤレス音声を実現しています。

EVERSE 8 は、8 インチウーファーを備えた 2 ウェイ構成です。システムには、高出力のチタン製フェロ流体冷却ツイーターが含まれており、高エネルギーネオジム磁石により、高出力と軽量化を実現しています。ツイーターは特許取得済みの SST 定指向性ウェーブガイド設計である Electro-Voice に取り付けられており、100°x 100° という広いカバレッジで非常に高い SPL を生成し、音響アライメントと低音域の伸びが強化されています。

頑丈なポリプロピレン製の筐体は、入力セクションに耐候性の入力カバーを備えており、バッテリー電源と Bluetooth® ストリーミングでの使用において IP43 等級（防滴および小雨耐性）を満たすことができます。アクセサリのスリップカバーを使用することもでき、必要に応じて耐候性と保護を強化できます。

EVERSE 8 は、Electro-Voice の QuickSmart DSP 搭載で、**POWERED BY DYNACORD** に対応しており、FX、ハウリング抑制、ダッキング機能を備えた 4 チャンネルデジタルミキサーを内蔵しています。また、本スピーカー向けにカスタム設計され、オーディオ用に完全に最適化された大容量バッテリーパックを利用できます。バッテリーパックは、スピーカーに十分な電力を供給するのに加え、RE3 または R300 ワイヤレスマイクシステムに給電するための DC 12 V のアクセサリポートも備えています。

EVERSE 8 は、白と黒の 2 色で提供されます。

2.1 概要情報

次の表に、EVERSE ファミリー内の製品の CTN（型式番号）と対応する製品名を示します。

CTN	製品説明
EVERSE8-US	8 インチ 2 ウェイスピーカーバッテリー黒 US
EVERSE8-EU	8 インチ 2 ウェイスピーカーバッテリー黒 EU
EVERSE8-W	8 インチ 2 ウェイスピーカーバッテリー白 US&EU
EVERSE8-TRAY-B	EVERSE 8 用トレイ、DC 12 V ケーブル黒
EVERSE8-TRAY-W	EVERSE 8 用トレイ、DC 12 V ケーブル白
EVERSE8-RAINCVR	EVERSE 8 用防雨カバー
EVERSE8-TOTE	EVERSE 8 用パッド付きトートバッグ
EVERSE8-BAT-B	バッテリーパックアセンブリ、EVERSE8、黒
EVERSE8-BAT-W	バッテリーパックアセンブリ、EVERSE8、白

2.2 システムの特徴

EVERSE8-US/EVERSE8-EU/EVERSE8-W

– 取り外しおよび交換が可能な長時間駆動のバッテリーパック

EVERSE 8 バッテリーパックを使用すると、最大出力レベルで 6 時間以上の連続音楽再生、または平均 95 dB SPL で 12 時間以上の音楽再生が可能です。EVERSE 8 には、省電力機能が搭載さ

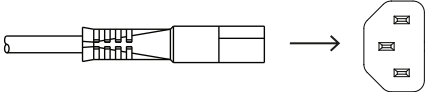
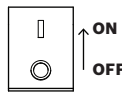
- れており、信号がないときにはバッテリー寿命を延ばすことができます。EVERSE 8 スピーカーの DC 12 V ジャックは、Electro-Voice の RE3 や R300 などのワイヤレスマイクレシーバーに電力を供給するために使用できます。
- **真にプロフェッショナルなレベルの出力と Electro-Voice 音質**
EVERSE 8 は、SST ポート付きの 8 インチのウーハーと、1 インチのチタンドームツイーターを備えており、50 Hz から 20 kHz で最大 121 dB を超える SPL を生成できます。100° x 100° のウェーブガイドにより、すべての周波数にわたって均一なカバレッジが保証されます。基本姿勢以外に、さらに 2 つのモニター角度（30° と 55°）を選べるため、あらゆる状況で適切なカバレッジとポジションを実現できます。
 - **使いやすい QuickSmart Mobile アプリと Electro-Voice の直感的なユーザーインターフェイス**
EVERSE には、直感的な操作が可能な Electro-Voice の QuickSmart DSP が搭載されており、シングルエンコーダーとプッシュキーインターフェイスで簡単かつ迅速にセットアップできます。EVERSE では、QuickSmart Mobile アプリがインストールされたモバイルデバイスと Bluetooth® でペアリングすることにより、すべてのオーディオ機能を簡単にリモートでコントロールできます。QuickSmart Mobile アプリでは、EVERSE 8、ELX200 対応ファミリー、EVOLVE ファミリーの最大 6 台のスピーカーを任意の組み合わせでペアリングし、グループ化できます。
 - **高品質ステレオ Bluetooth® ストリーミング**
EVERSE 8 Bluetooth® ストリーミング機能。2 台の EVERSE 8 スピーカーをペアリングして、モバイルデバイスから True Wireless Stereo (TWS) ストリーミングをすることも可能です。
 - **POWERED BY DYNACORD に対応し、4 チャンネルのデジタルミキサーを搭載**
EVERSE 8 は、FX、EQ、自動ハウリング抑制機能、ダッキング機能を備えた 4 チャンネルのミキサーを搭載しています。このミキサーには 2 つの XLR/TRS コンボジャックがあり、**INPUT 1** (XLR) が 48 V ファンタム電源、**INPUT 2** (TRS) が Hi-Z に対応しています。また、ステレオ Bluetooth® と 3.5 mm 接続にも対応しています。
 - **自動スタンバイ**
EVERSE 8 は、15 分間信号がなかった場合に、自動でスタンバイモードに切り替わります。これにより、スピーカーが使用されていないときに、バッテリーを節約することができます。パネルまたはアプリでボタンを押すと、スピーカーは再びアクティブ状態になり、完全に動作します。

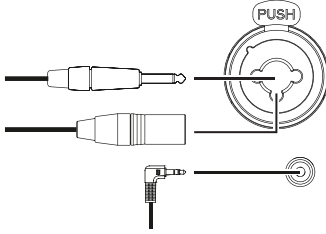
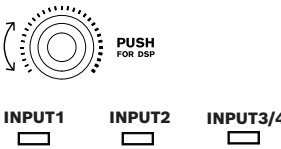
2.3

クイックセットアップ

フルレンジスピーカー

スピーカーのセットアップ方法:

手順	説明図
1. AC 電源コードをアース付きコンセントから MAINS IN に接続し、バッテリーを十分に充電します。 注: スピーカーを初めて使用するときは、スピーカーを電源に接続したまま 24 時間充電することをお勧めします。	
2. 電源スイッチを ON にします。	
3. MASTER VOL つまみを使用して、音量 (VOL) を 0 dB に調整します。	

4. XLR または TRS ケーブルを使用している場合は、INPUT 1 または INPUT 2 の入力選択ソフトキーを押します。 3.5 mm ミニジャックを使用している場合は、INPUT 3/4 の入力選択ソフトキーを押します。MASTER VOL つまみを使用して、INPUT LEVEL を MUTE に調整します。	INPUT1 INPUT2 INPUT3/4 
5. XLR または TRS ケーブルを使用する場合は、音声ソースを INPUT 1 または INPUT 2 に接続します。3.5 mm ミニジャックを使用する場合は、INPUT 3/4 に接続します。接続前に、音声ソースが MUTE または低いレベルになっていることを確認してください。接続後に、ソースの出力を適切なレベルに上げます。	
6. 信号のピークが最大レベルのすぐ下に来るか、必要な出力が達成されるまで、INPUT LEVEL を調整します。CLIP が表示された場合、CLIP 表示が消えるまでレベルを下げます。 入力選択ソフトキーをもう一度押して、チャンネルメニューを終了します。	MASTER VOLUME 
7. MASTER VOL つまみを使って、スピーカーから必要な出力が得られるまでボリューム (VOL) を調整します。	MASTER VOLUME 

3 QuickSmart Mobile アプリのペアリング

タブレット端末やスマートフォン向けの EV QuickSmart Mobile アプリは、iTunes App Store および Google Play Store からダウンロードできます。



注記!

EV QuickSmart Mobile アプリには、Bluetooth® コントロール機能を搭載した Electro-Voice のスピーカーのみを表示するよう設計されています。

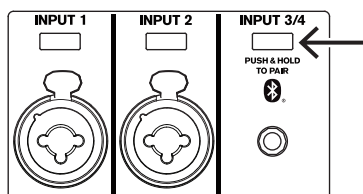
EV QuickSmart Mobile アプリには、電話やノートパソコン、タブレット、ヘッドセットなど、その他の Bluetooth® 対応機器は表示されません。

EV QuickSmart Mobile アプリを Electro-Voice スピーカーと接続する前の注意事項:

1. スマートフォンまたはタブレットで Bluetooth® が有効になっていることを確認します。
2. スピーカーがペアリングモードになっていることを確認します。

スピーカーでコントロールおよびストリーミング用のペアリングモードを実行する方法:

1. **INPUT 3/4** を長押しすると、**ペアリングモードがオン**になり、LCD に 4 桁の ID が表示されます。
LCD メニューから、コントロールとストリーミングのペアリングモードを別々に有効にできます。



2. モバイルデバイスの Bluetooth® 設定メニューに移動して、4 桁の ID が一致する EVERSE スピーカーを探し、ペアリングします。
これにより、モバイルデバイスが EVERSE スピーカーとペアリングされ、音声ストリーミングができるようになります。
3. 次の手順に進み、コントロール用のペアリングを行います。

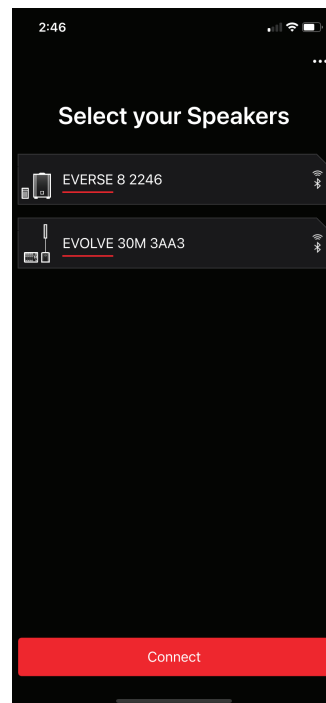
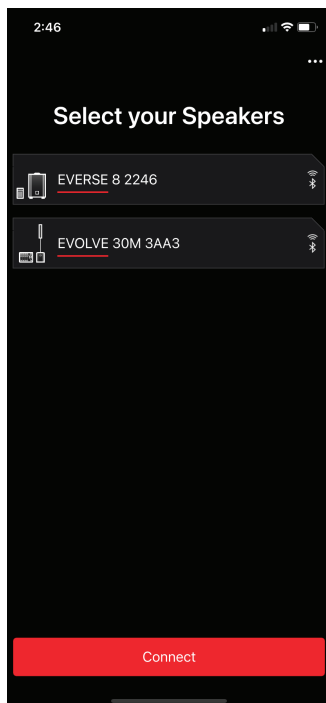


注記!

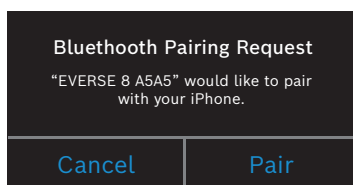
Android デバイスの場合、位置情報サービスが許可されていることを確認してください。Electro-Voice はユーザーの位置データまたは個人情報の収集、保存、追跡を行いません。

初回のペアリング

1. EV QuickSmart Mobile アプリを開きます。 
2. 「**Select your Speakers (スピーカーを選択してください)**」が画面に表示されます。
EV QuickSmart Mobile アプリは、Bluetooth® が有効になった Electro-Voice スピーカーを探しています。
接続可能なスピーカーが画面に表示されます。
3. アプリとペアリングするスピーカーをタップします。
選択されたスピーカーの下に、選択されたことを確認する線が表示されます。
4. 必要なスピーカーをすべて選択するまで、この手順を繰り返します。
5. **CONNECT** ボタンをタップします。



6. アプリが目的のスピーカーに接続されます。
受け入れる必要のある各デバイスのペアリングについて、iOS/iPadOS/Android からメッセージが表示されます。
7. デバイス上で **PAIR** をタップし、スピーカーとのペアリングを受け入れます。
アプリは最大 6 台のスピーカーと接続できます。



2 回目以降のペアリング

追加のスピーカーを EV QuickSmart Mobile アプリとペアリングする方法:

1. EV QuickSmart Mobile アプリアイコンをタップします。 
2. 「**Select your Speakers (スピーカーを選択してください)**」が画面に表示されます。
EV QuickSmart Mobile アプリは、Bluetooth® が有効になった Electro-Voice スピーカーを探しています。
接続可能なスピーカーが画面に表示されます。
3. アプリとペアリングするスピーカーをタップします。
選択されたスピーカーの下に、選択されたことを確認する線が表示されます。
4. 必要なスピーカーをすべて選択するまで、この手順を繰り返します。

5. **CONNECT** ボタンをタップします。
アプリが目的のスピーカーに接続されます。
アプリは最大 6 台のスピーカーと接続できます。

4

操作

4.1

バッテリーパックの取り付けと充電

EVERSE 8 は、大容量のリチウムイオンバッテリーパックが搭載された状態で提供されます。バッテリーの最大稼働時間と平均寿命を確保するために、最初に使用する前に 24 時間バッテリーを充電してください。

バッテリーの充電方法:

- ▶ バッテリーが EVERSE 8 に取り付けられている状態で **MAINS IN** をプラグに接続します。

最初のフル充電後、予想されるバッテリー充電時間は次のとおりです。

- 信号がなく、電源を切った状態で 4 時間以内。
- 電源を入れ、高出力レベルでオーディオを再生している状態で 6 時間以内。

電源を切った状態でバッテリーを充電しているときは、LCD に  **CHARGING** が表示されます。バッテリーが完全に充電されたときは、LCD に  **FULL** が表示されます。

注記!

バッテリーの自己放電

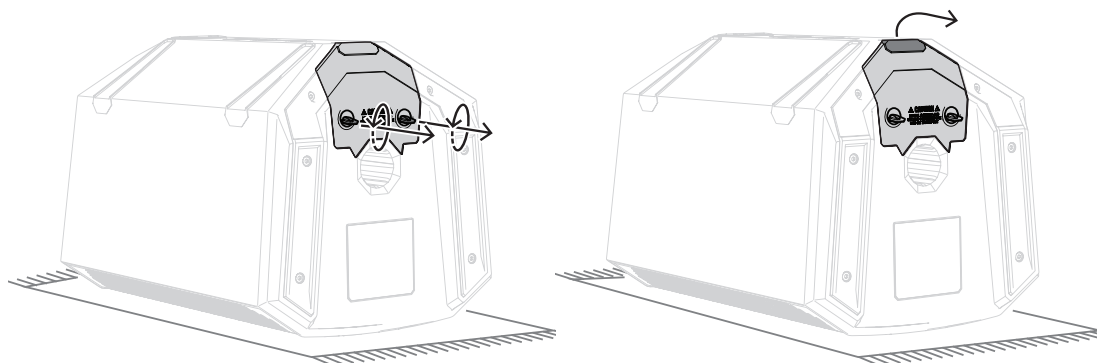
すべてのリチウムイオンバッテリーでは、長期間（数か月）にわたって自己放電が起こります。バッテリーを充電せずに長期間放置すると、バッテリーが完全に放電される場合があります。完全に充電するには、通常より時間がかかる場合があります。このような場合は、バッテリーを 24 時間充電してから使用してください。

スピーカーとバッテリーは毎月点検し、バッテリーの充電を行ってください。これにより、バッテリーの稼働時間を維持し、耐用年数を延ばすことができます。



検査または交換のためにバッテリーを取り外し、再度取り付けるには、次の手順に従います。

1. バッテリーカバーを手前に向けた状態でスピーカーグリルの側面を下にして、ゴム製マットのある作業台などの傷が付かない平らな面に置きます。
2. 2 本のフィンガータブネジを反時計回りに回して完全に緩めます。
3. バッテリーカバーの裏側にあるフィンガープルで、バッテリーパックを優しくかつしっかりと引っ張ります。



4. バッテリーパックを再び取り付けるには、前の手順を逆に実行します。

**注記!**

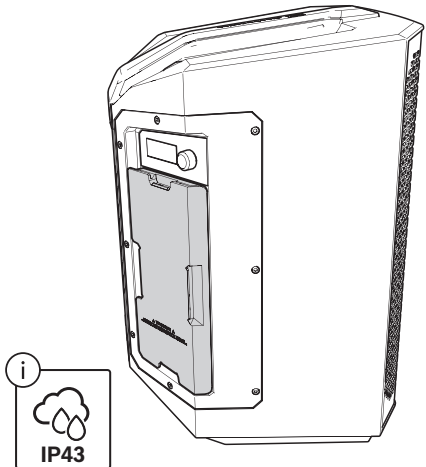
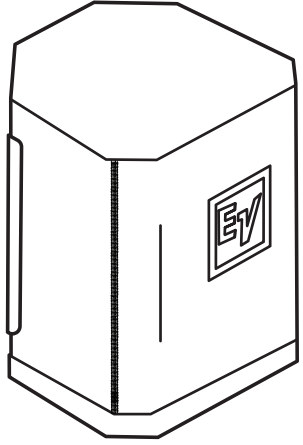
フィンガータブネジを締める前に、バッテリーカバーがしっかりとハマっていることを確認してください。ぴったり合うまで指で締めます。締めすぎたり、過度のトルクをかけたりしないでください。破損の原因となります。

4.2**耐候性**

耐候性入力カバーを取り付けると、EVERSE 8 スピーカーは IP 43 等級の耐候性を発揮するよう設計されていますが、防水ではありません。耐候性は、破損、修理、不適切な分解、および定期的な摩耗によって低下する可能性があります。使用前には毎回 EVERSE 8 とアクセサリを点検してください。保管前または使用の合間に、スピーカーとコンポーネントを乾かしてください。

耐候性入力カバーが取り付けられた EVERSE 8 スピーカーは、濡れた環境または湿気のある環境での一時的な使用のみを想定して設計されています。スピーカーが長期間にわたって継続的に湿気にさらされることは意図されていません。塩水、水しぶき、塩素にさらしたり、高塩素環境で使用したりしないでください。

湿気の多い、濡れた環境でスピーカーを安全に使用する方法:

 バッテリー電源を使用しているとき、および Bluetooth® でのストリーミングとコントロールを使用しているときは、耐候性の入力カバーを使用してください。「耐候性入力カバーの取り付け, ページ 25」を参照してください。	 主電源がオンの場合、またはいずれかの I/O 接続が必要な場合は、Electro-Voice 認定アクセサリの防雨カバーを使用してください。防雨カバーの適切な取り付け方と使用方法については、アクセサリのユーザーガイドを参照してください。
---	--

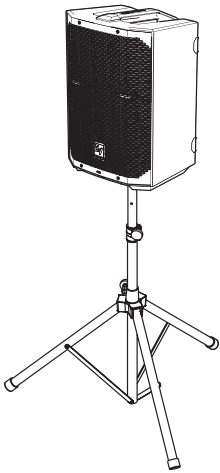
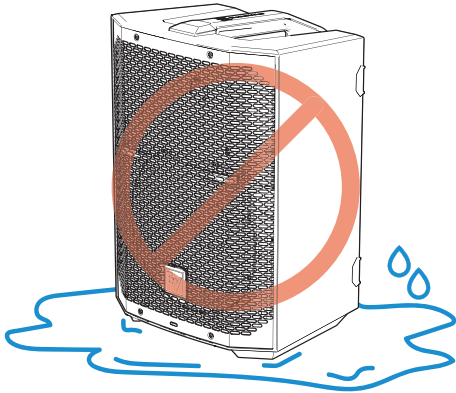
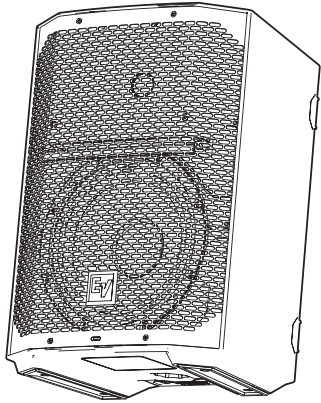
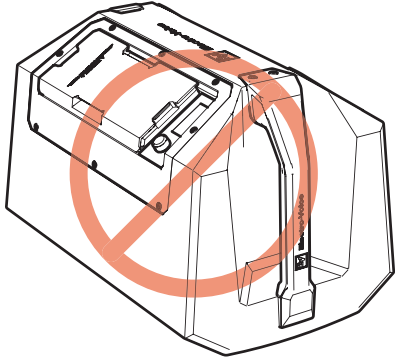
**警告!**

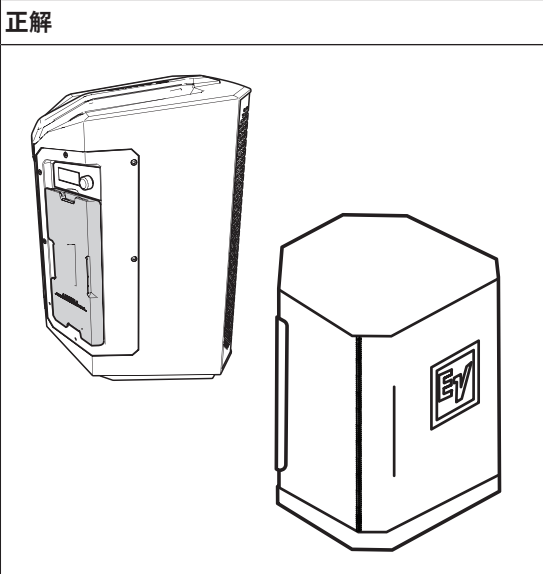
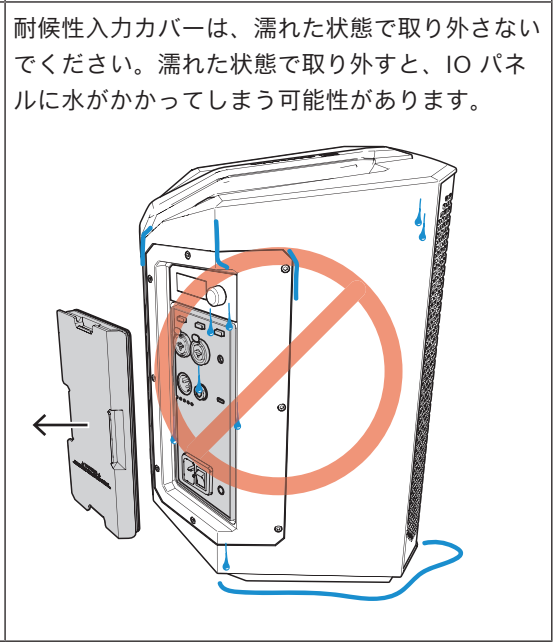
EVERSE 製品は、このセクションで明確に記された方法でのみ使用してください。この警告に従わない場合、製品の故障や大怪我の原因となる可能性があります。

**警告!**

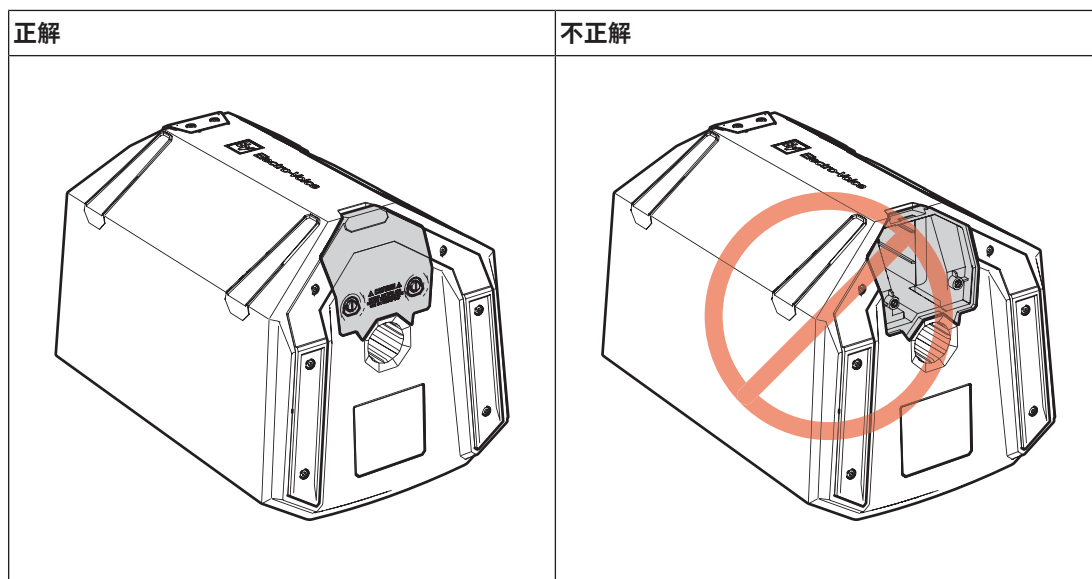
Electro-Voice の認定アクセサリのみを使用してください。

湿気の多い場所や濡れた場所でスピーカーを使用する

正解	不正解
スピーカーを高く、水平で安定した面、またはスタンドの上に設置します。 	スピーカーを水がたまった場所に置かないでください。 
スピーカーは常に立てて、KICKBACK モードまたは MONITOR モードで設置してください。 	水の浸入を防ぐために、スピーカーの上下を逆にして設置したり運んだりしないでください。また、アンプパネル側の上にスピーカーを設置しないでください。 
正解	不正解
濡れた環境や湿気の多い環境では、必ず付属の耐候性入力カバー（耐候性入力カバーの取り付け、ページ 25 を参照）またはElectro-Voice 認定アクセサリの防雨カバーを使用してください。	付属の耐候性入力カバーまたはアクセサリの防雨カバーを付けていない状態では、EVERSE 8 スピーカーを湿気の多い環境や濡れた環境で使用しないでください。

正解	不正解
	
使用後は、製品と耐候性入力カバーを乾かしてから、耐候性入力カバーを取り外してください。	耐候性入力カバーは、濡れた状態で取り外さないでください。濡れた状態で取り外すと、IO パネルに水がかかってしまう可能性があります。
	

正解	不正解
濡れた環境や湿気の多い環境で操作する場合は、バッテリーが正しく取り付けられていることを常に確認してください。	バッテリーが取り付けられていない場合は、濡れた環境や湿気の多い環境で使用しないでください。バッテリーベイに湿気が入る可能性があります。

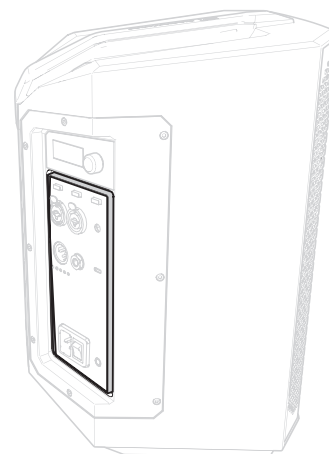
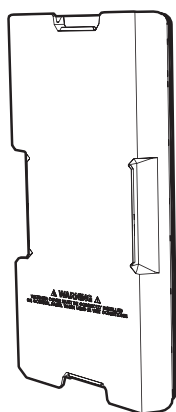


4.3 耐候性入力カバーの取り付け

EVERSE 8 スピーカーを濡れた環境や湿気の多い環境で使用する可能性がある場合は、必ず耐候性入力カバーを取り付けてください。耐候性入力カバーを取り付けた場合、EVERSE 8 スピーカーは IP43 等級の耐水性能を発揮します。EVERSE 8 スピーカーは、バッテリー電源とオーディオ用の Bluetooth® ストリーミングで動作させ、耐候性入力カバーを取り付けて制御することができます。

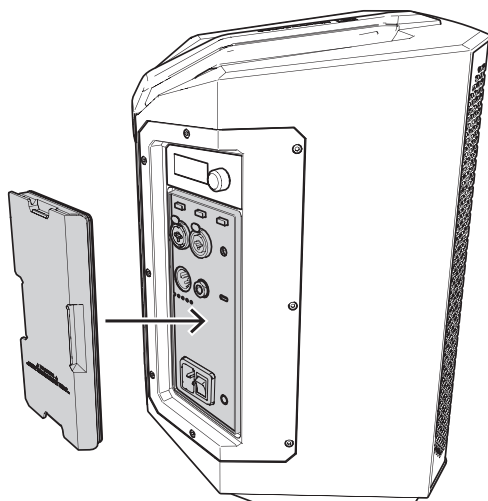
耐候性入力カバーの取り付け方:

1. 耐候性入力カバーが無傷で、乾燥しており、清潔で、ガスケットが良好な状態であることを確認します。
2. EVERSE 8 スピーカーの入力パネルが乾いていて、清潔であることを確認します。また、入力コネクタの周りの接合チャンネルが乾いていて、密封の妨げとなるようなほこりや異物がないことを確認します。

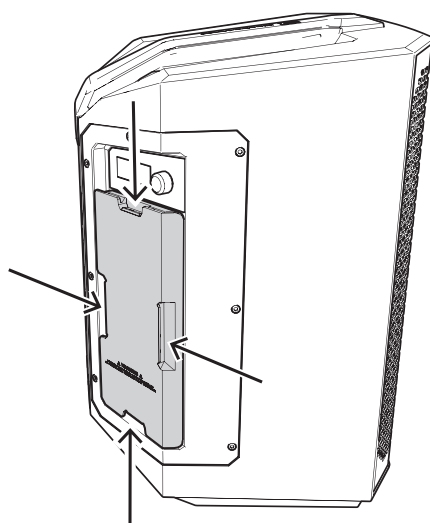


3. スピーカーの電源を入れます。
4. ガスケットをアンプ入力パネルの接合チャンネルに完全に固定するために、耐候性入力カバーをしっかりと押して取り付けます。

耐候性入力カバーは、隣接するスピーカーのパネルと同じ高さになります。

**耐候性入力カバーの取り外し方:**

- ▶ フィンガープルタブを使用して、カバーを慎重かつ均等に引っ張ります。

**4.4****スタンドまたはポールマウントへの設置**

EVERSE 8 スピーカーは、スタンドまたはサブウーハーの上にあるポールに取り付けます。

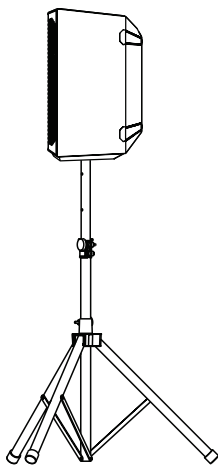
スタンドへの取り付け**注意!**

本スピーカーについて、三脚の安全性は評価されていません。三脚スタンドの仕様を参照し、本スピーカーの重量に耐えられることを確認してください。

スピーカーのスタンドへの取り付け方:

1. スタンドを安定した面に置きます。
1. スタンドの脚を完全に伸ばします。
2. スタンドを「さらに高く」するなど、その構造上の完全性を損なわないようにしてください。
3. 1 台用のスピーカースタンドに複数のスピーカーを取り付けしないでください。
1. スピーカーを両手で持ち上げます。

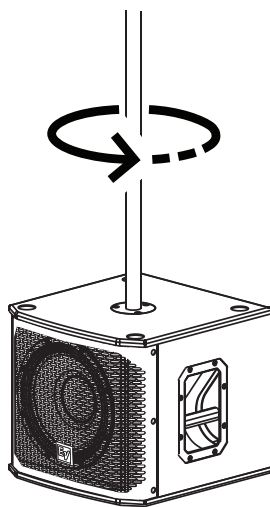
2. スピーカーの底部にあるポールカップをポールに取り付けます。



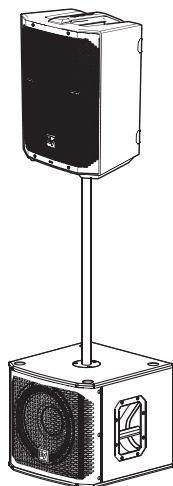
スピーカーをポールに取り付ける

スピーカーのポールへの取り付け方:

1. サブウーハーを安定した場所に置きます。
2. M20 ねじ山付きポールをサブウーハー上部のコンボポールカップに挿入します。
3. M20 ねじ山付きポールを時計回りに回し、ポールをサブウーハーに固定します。



4. スピーカーを両手で持ち上げます。
5. スピーカーの位置を DSP コントロールメニューの **TRIPOD** に設定します。
6. 対応するサブウーハーの **LOW PASS** 設定を選択します。

**注記!**

最高の音質を得るため、メニューまたはアプリで **LOCATION TRIPOD** を選択します。

4.5**フロアモニターとキックバック**

EVERSE 8 スピーカーは、フロアモニターとして使用することも、スピーカーを 2 つの一体型モニター角度のいずれかに配置してキックバックポジションで使用することもできます。

スピーカーをフロアモニターとして設定する

スピーカーをフロアモニターとして設定する方法:

1. スピーカーを安定した面に置きます。
2. 出演者、製作スタッフ、聴衆がケーブルにつまづかないよう、ケーブルを安全に配線します。
3. スピーカーの位置を DSP コントロールメニューの **MONITOR** に設定します。

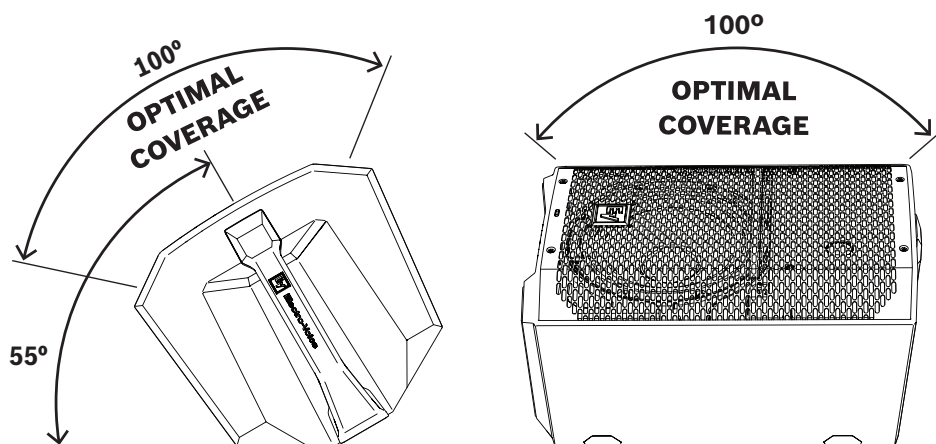


図 4.1: モニター位置での最適なカバーエリア（左側面および右前面）

スピーカーをキックバックポジションで設定する

スピーカーをキックバックポジションで設定する方法:

1. スピーカーを安定した面に置きます。
2. スピーカーを後方に傾けて、キックバック位置にしっかりと固定します。

3. 出演者、製作スタッフ、聴衆がケーブルにつまずかないよう、ケーブルを安全に配線します。
4. スピーカーの位置を DSP コントロールメニューの **KICKBACK** に設定します。

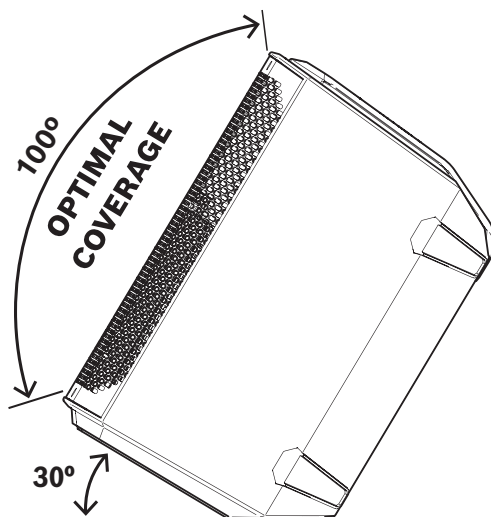


図 4.2: キックバックポジションのカバレッジを最適化します。

5 アンプ DSP

5.1 アンプ DSP コントロール

アンプには、いくつかのコントロールとコネクタが装備され、非常に多目的に使えるスピーカー・システムを構成することができます。

スピーカーのコントロールとモニタリングインタフェース

EVERSE では、以下の DSP コントロールメニューを選択できます。

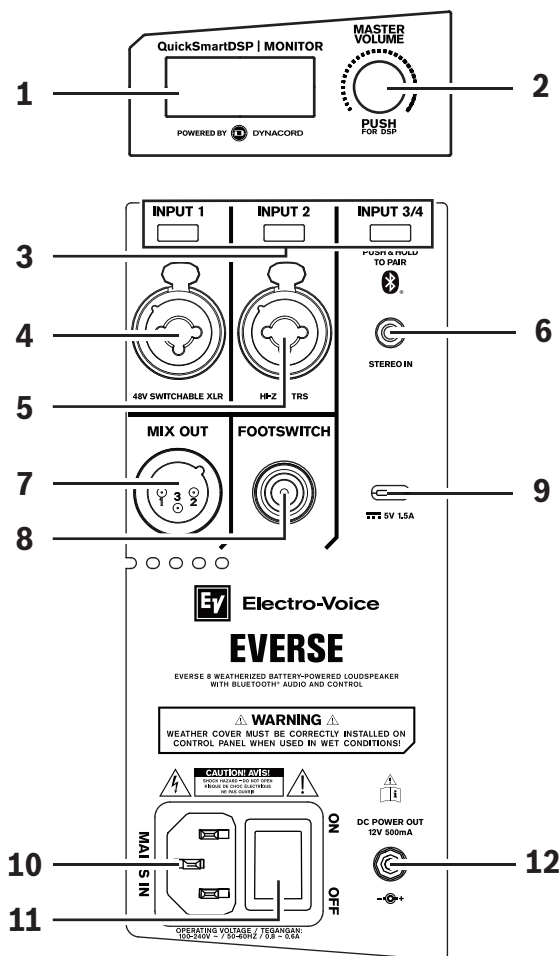


図 5.1: スピーカーアンプパネル

1. **LCD** - DSP コントロールとモニタリング・インタフェース。
2. **MASTER VOL** - サウンドレベルを調整し、DSP コントロールメニューに移動します。
DSP - メニューをスクロールして利用できるメニュー項目を選択します。**MASTER VOL** つまみを押して DSP コントロールメニューを開きます。
3. **入力選択ソフトキー** - ソフトキーを押して入力を選択し、チャンネルの DSP コントロールメニューにアクセスします。ソフトキーをもう一度押すと、チャンネルの選択を解除し、メイン DSP に戻ります。
4. **INPUT 1** - ミキシングコンソール、楽器、マイクなどの信号ソースを接続するバランス型入力。接続には ¼ インチの TRS または XLR コネクタを使用します。XLR コネクタでは、48 V ファンタム電源を選択することも可能です。
5. **INPUT 2** - ミキシングコンソールやマイクなどの入力ソースを XLR コネクタ経由で接続したり、Hi-Z インストゥルメントを TRS 経由で接続したりするためのバランス型入力。
6. **INPUT 3/4** - 音声ストリーミング用の Bluetooth® ステレオ入力または 3.5 mm ミニジャックを介したアナログステレオ入力。

7. **MIX OUT** - XLR 出力は、全入力信号のミックス、ステレオ L 信号、ステレオ R 信号のいずれかを、別のスピーカーまたはサブウーハーへ送信します。
8. **FOOTSWITCH** - フットスイッチコントロールを接続して FX のオンとオフを切り替えるための ¼ インチ TRS コネクタ。
9. **モバイルデバイスの充電ポート** - モバイルデバイス用の 5 V、1.5 A 充電ポート。
10. **MAINS IN** - AC 接続には IEC コネクタを使用します。
11. **POWER** - スピーカー電源の **ON** と **OFF** を切り替えるスイッチ。電源を **ON** にすると、約 3 秒後に LCD 画面が点灯します。
12. **DC POWER OUT** - EVERSE-TRAY アクセサリに含まれる 外径5.5 mm、内径 2.5 mm の DC 電源ケーブルで使用するDC電源出力ジャック。DC POWER OUT ジャックは、Electro-Voice RE3 や R300 ワイヤレスマイクレシーバーなど、センターピンのプラス極性を使用し、DC12 ボルトで 500 mA 以下の電力を消費するワイヤレスマイクレシーバーに電源を供給することができます。



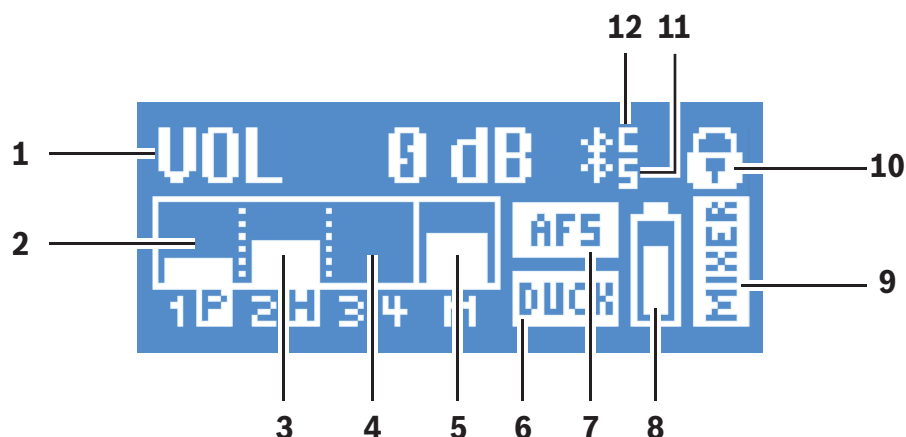
警告!

DC 電源ジャックは電源出力です。**これは充電ポートではありません。**このコネクタを使用して DC 電源アダプタを接続したり、EVERSE スピーカーのバッテリーを再充電しないでください。そのような行為により、スピーカーが破損し、保証が無効になる場合があります。

5.2

システムの状態

正常なシステム状態



1. **VOL** - システムのマスターゲインを dB で示します。範囲は -80 dB から +10 dB までで、1 dB 単位で表示されます。
2. **INPUT 1** - VU メーターは、INPUT 1 からアンプ INPUT 1 コネクタへの信号レベルを示します。**P** の表示は 48 V ファンタム電源がオンになっていることを示します。
3. **INPUT 2** - VU メーターは、INPUT 2 からアンプ INPUT 2 コネクタへの信号レベルを示します。**H** の表示は、Hi-Z インストゥルメントが INPUT 2 TRS コネクタに接続されていることを示します。
4. **INPUT 3/4** - VUメーターは、Bluetooth® ストリーミングまたは 3.5 mm ミニジャック接続のいずれかからアンプへの INPUT 3/4 の信号レベルを示します。
5. **MAIN** - MAIN 出力の信号レベルが VUメーターに表示されます。
6. **DUCK** - ダッキングは、INPUT 1 と INPUT 2 のいずれかまたは両方で有効になります。
7. **AFS** - 自動ハウリング抑制機能が有効になっています。
8. **BATTERY ステータス** - スピーカーのバッテリーレベルと、バッテリーが充電されているかどうかを示します (**MAINS** が接続されている場合)。
9. **FUNCTION インジケーター** - システムが **MIXER** モードか **BASIC** モードかを示します。

10. **ステータス表示** – 交互に次を表示します。
 - 1** – 選択したプリセット番号を示します。5 種類のユーザー定義プリセットを使用できます。
 - E** – 編集済み。プリセットが保存されていないことを示します。プリセットが保存されると、**E** は表示されません。
 - ロックステータス** – LCD ディスプレイとコントロールがロックされていることを示します。
 - MASTER VOL** つまみまたはチャンネル選択のソフトキーを押してロックを解除します。
11. **S** – 音声ストリーミング。以下のオプションを使用できます。
 - OFF - DISABLED**
 - FLASHING - PAIRING MODE (120s)**
 - SOLID - CONNECTED**
12. **C** – コントロールアプリ。以下のオプションを使用できます。
 - OFF - DISABLED**
 - FLASHING - PAIRING MODE**
 - SOLID - CONNECTED**

システム保護

システムで推奨されている入出力を超過した場合、システム保護リミッタが働き、LCD ディスプレイに **CLIP** (入力) または **LIMIT** (出力) が表示されます。

CLIP

CLIP は、入力信号が高すぎるため、クリップされた信号がスピーカーに入力されていることを示します。

CLIP が表示された場合:

- ▶ **INPUT GAIN** またはミキサーやソース機器の信号を下げてください。

LIMIT

LIMIT は、歪みを引き起こす可能性のある短時間のピークおよび長時間の過負荷からスピーカーを保護します。**LIMIT** が画面に表示されている場合、リミッタがアクティブです。

LIMIT が頻繁または継続的に表示される場合:

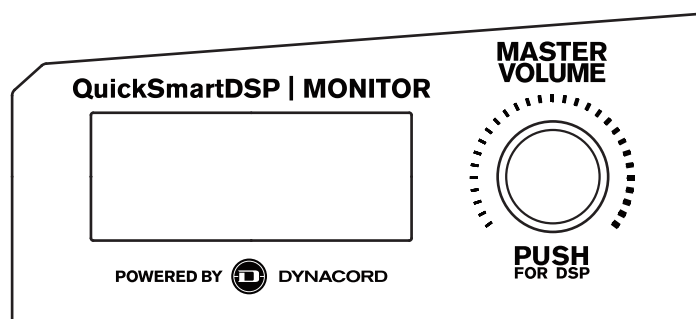
- ▶ 出力音量 (**MASTER VOL**) を下げることを強くお勧めします。



5.3

DSP コントロール

統合 DSP コントロール メニューでは、スピーカーの DSP システム設定を複数選択することができます。



DSP コントロールメニューへのアクセス

DSP コントロールメニューへのアクセス方法:

1. **MASTER VOL** つまみを押します。
DSP コントロールメニューが表示されます。
2. **MASTER VOL** つまみを回してメニュー項目をスクロールします。

3. **MASTER VOL** つまみを押して、修正するメニュー項目を選択します。
フォーカスが DSP コントロールメニュー右側のパラメータに移動します。
4. **MASTER VOL** つまみを使用してパラメータをスクロールします。
5. **MASTER VOL** つまみを押し、選択したパラメータを確定します。
設定が保存されます。フォーカスが DSP コントロールメニュー左側のメニュー項目に戻ります。
6. その他の DSP およびシステム設定を変更するには、手順 2 - 5 を繰り返します。
7. ホーム画面に戻るには、**EXIT** を選択します。

5.3.1

スピーカーの DSP コントロールメニュー

EVERSE スピーカーでは、以下の DSP コントロールメニューを使用できます。

MIXER モードの DSP コントロールメニュー

VOLUME		0 dB (デフォルト)
		MUTE、-80 dB から +10 dB (1 dB)
	EXIT	
	FUNCTION	MIXER (デフォルト)
		BASIC
	MODE	MUSIC (デフォルト)
		LIVE
		SPEECH
		CLUB
	MAIN LEVEL	0 dB (デフォルト)
		MUTE、-80 dB から +10 dB (1 dB)
	LOCATION	TRIPOD (デフォルト)
		KICKBACK
		MONITOR
	SUB	OFF (デフォルト)
		100 Hz
		120 Hz
		150 Hz
		ELX200-12SP
		ELX200-18SP
		EKX-15SP
		EKX-18SP
	TREBLE	0 dB (デフォルト)

		-12 dB から +6 dB
MID		0 dB (デフォルト)
		-12 dB から +6 dB
BASS		0 dB (デフォルト)
		-12 dB から +6 dB
MAIN PEQ	BACK	
	ENABLE ALL	ON (デフォルト)
		OFF
	RESET ALL	NO (デフォルト)
		YES
	PEQ #	1 (デフォルト)
		1 - 7
	BYPASS	OFF (デフォルト)
		ON
	TYPE	PEQ (デフォルト)
		LOW SHELF
		HI SHELF
		LOW PASS
		HI PASS
	Q (PEQ のみ)	0.7 (デフォルト)
		0.5 - 10.0
	FREQ	120 Hz (デフォルト)
		50 ~ 20 kHz
	GAIN (PEQ、LOW SHELF、HI SHELF のみ)	0 dB (デフォルト)
		-12 dB から +6 dB
	RESET	NO (デフォルト)
		YES
	BACK	
MAIN GEQ	BACK	
	63 Hz	0 dB (デフォルト) -12 dB から +12 dB (1 dB)
	160 Hz	0 dB (デフォルト)

		400 Hz	-12 dB から +12 dB (1 dB)
		1 kHz	0 dB (デフォルト)
		2.5 kHz	-12 dB から +12 dB (1 dB)
		6 kHz	0 dB (デフォルト)
		12 kHz	-12 dB から +12 dB (1 dB)
		RESET	RESET ALL BANDS? YES/NO
		BACK	
	FX	01 (デフォルト)	
		00 - 30	
	FX Delay (FX 20 のみ)	427 ms (デフォルト)	
		30 ms ~ 550 ms	
	FX 有効	ON (デフォルト)	
		OFF	
	AFS (自動ハウリング抑制機能)	OFF (デフォルト)	
		ON	
	MIX OUT	L+R (デフォルト)	
		L	
		R	
	BLUETOOTH	BACK	
		BLUETOOTH	ON (デフォルト)
			OFF
		ID (4 桁の固有のデバイス番号)	
		CONTROL PAIR	
		AUDIO PAIR	
		LINK SPEAKERS	
		LINK ROUTE	L+R (デフォルト)
			L
			R
		BACK	
	LED	ON (デフォルト)	
		OFF	

		LIMIT	
		DISPLAY	BACK
			LCD DIM
			ON (デフォルト)
			OFF
			BRIGHT
		5 (デフォルト)	1 - 10
			1 - 10
		CONTRAST	5 (デフォルト)
			1 - 10
		BACK	
		STORE	
		BACK、1、2、3、4、5、BACK	
		RECALL	
		BACK、1、2、3、4、5、6 (デフォルト)、BACK	
		STANDBY	
		15 min (デフォルト)	
		15 min ~ 60 min、OFF	
		RESET	DEFAULT SETTINGS?
			NO (デフォルト)
			YES
			ERASE USER PRESETS?
			NO (デフォルト)
			YES
		INFO	
		[ファームウェアバージョン]	
		©2021 Electro-Voice	
		EXIT	

表 5.1: スピーカー DSP コントロールメニュー MIXER モード

BASIC モードの DSP コントロールメニュー

VOLUME		0 dB (デフォルト)
		MUTE、-80 dB から +10 dB (1 dB)
	EXIT	
	FUNCTION	MIXER (デフォルト)
		BASIC
	MODE	MUSIC (デフォルト)

		LIVE
		SPEECH
		CLUB
LOCATION		TRIPOD（デフォルト）
		KICKBACK
		MONITOR
SUB		OFF（デフォルト）
		100 Hz
		120 Hz
		150 Hz
		ELX200-12SP
		ELX200-18SP
		EKX-15SP
		EKX-18SP
DELAY		OFF（デフォルト）
		0.1 m ~ 100.0 m
TREBLE		0 dB（デフォルト）
		-12 dB から +6 dB
MID		0 dB（デフォルト）
		-12 dB から +6 dB
BASS		0 dB（デフォルト）
		-12 dB から +6 dB
MIX OUT		L+R（デフォルト）
		L
		R
BLUETOOTH	BACK	
	BLUETOOTH	ON（デフォルト）
		OFF
	ID（4桁の固有のデバイス番号）	
	CONTROL PAIR	
	AUDIO PAIR	
	LINK SPEAKERS	
	BACK	

LED		ON (デフォルト)
		オフ
		LIMIT
DISPLAY	BACK	
	DIM	ON (デフォルト)
		オフ
	BRIGHT	5 (デフォルト)
		1 - 10
	CONTRAST	5 (デフォルト)
		1 - 10
	BACK	
STORE		BACK、1、2、3、4、5、BACK
RECALL		BACK、1、2、3、4、5、6 (デフォルト)、BACK
STANDBY		15 min (デフォルト)
		15 min ~ 60 min、OFF
RESET	DEFAULT SETTINGS?	NO (デフォルト)
		YES
	ERASE USER PRESETS?	NO (デフォルト)
		YES
INFO		[ファームウェアバージョン]
		©2021 Electro-Voice
EXIT		

表 5.2: スピーカー DSP コントロールメニュー BASIC モード

EXIT メニュー

EXIT メニューは、ホーム画面に戻るために使用します。

**注記!**

非アクティブ状態が 30 秒間続くと、ディスプレイはホーム画面に戻ります。

FUNCTION メニュー

FUNCTION メニューは、**MIXER** および **BASIC** の機能を設定するために使用します。

- **BASIC** - 入出力のゲインコントロール、3バンド EQ、システム遅延を設定でき、音質のセットアップが簡単にできます。また、サテライトまたは R チャンネルステレオのセットアップも可能です。
- **MIXER** - ミキサーのフルアクセスと制御が可能です。

MODE メニュー

MODE メニューは、スピーカーが出す音声の種類を構成するために使用します。

この選択項目で利用可能なオプションは、**MUSIC**、**LIVE**、**SPEECH**、**CLUB** です。

- **MUSIC** - 録音された音楽の再生と電子ダンス音楽の用途に使用します。
- **LIVE** - ライブ音声用途に使用します。
- **SPEECH** - スピーチ用途に使用します。
- **CLUB** - 録音されたエレクトロニックミュージックの再生に使用します。

デフォルトは **MUSIC** です。

LOCATION メニュー

LOCATION メニューは、スピーカーをさまざまな境界向けに最適化するために使用します。

この選択項目で利用可能なオプションは、**TRIPOD**、**KICKBACK**、**MONITOR** です。

- **TRIPOD** - スピーカーをスタンドまたはポールに取り付ける場合に使用します。
- **KICKBACK** - スピーカーに角度を付けてリアキックバック位置へ設置する場合に使用します。
この設定は、スピーカーを水平で安定した面に置いたときに生じる低周波数増幅の量を補正します。
- **MONITOR** - スピーカーを、モニター位置へ設置する場合に使用します。この設定は、スピーカーを水平で安定した面に置いたときに生じる低周波数増幅の量を補正します。

デフォルトは **TRIPOD** です。

SUB メニュー

SUB メニューは、サブウーハーで使用するハイパス周波数を選択するために使用します。

この選択項目で利用可能なオプションは、**OFF**、**100 Hz**、**120 Hz**、**150 Hz**、**ELX200-12SP**、**ELX200-18SP**、**EKX-15SP**、**EKX-18SP** です。**100 Hz**、**120 Hz**、**150 Hz** の選択肢は、その他のサブウーハー用の汎用ハイパス設定です。**ELX200-12SP**、**ELX200-18SP**、**EKX-15SP**、**EKX-18SP** 設定には、最良の合成を行うための遅延が含まれており、サブウーハー用に特別に最適化されています。

デフォルトは **OFF** です。

TREBLE コントロール

TREBLE コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの高域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータはハイシェルピングのフィルタを制御します。

デフォルトは **0 dB** です。

MID コントロール

MID コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの中域周波数性能を調整するために使用します。

デフォルトは **0 dB** です。

BASS コントロール

BASS コントロールは、用途や好みに合わせてスピーカーの低域周波数性能を調整するために使用します。このパラメータはローシェルピングのフィルタを制御します。

デフォルトは **0 dB** です。

MAIN PEQ メニュー

MAIN PEQ は、用途や好みに合わせてスピーカーの周波数特性を調整するために使用します。7 つのイコライザフィルタを使用できます。

フィルタタイプは、次の中から選択できます。

PEQ - パラメトリックイコライザフィルタは、3 つのコントロールを持つピーク/ディップベル型フィルタを使用してサウンドを形成します。

- **Q** - 品質要素はフィルタの帯域幅を定義します。**Q** を低くすると帯域幅は広くなり、**Q** を高くすると帯域幅は狭くなります。
- **FREQ** - EQ フィルタの中心周波数を選択します。
- **GAIN** - イコライザフィルタの増減量を設定します。

LOW/HI SHELF - 低域周波数特性または高域周波数特性に適用できるシェルビングタイプのフィルタを使用してサウンドを形成します。2 つのコントロールがあります。

- **FREQ** - フィルタの中心周波数を設定します。**LOW SHELF** フィルタでは、選択した周波数を超えるとフィルタの **GAIN** が徐々に小さくなります。**HIGH SHELF** フィルタでは、選択した周波数を下回るとフィルタの **GAIN** が徐々に小さくなります。
- **GAIN** - **FREQ** で設定した周波数の上下の信号の増減量を設定します。

LOW/HI PASS - 選択した周波数より上または下の信号のみを通過させることによってサウンドを形成するパスバンドフィルタです。

- **FREQ** - パスバンドフィルタのコーナー周波数を設定します。**HI PASS** フィルタの場合、選択範囲より上のすべての周波数が通過します。設定を下回る周波数は徐々に減少します。**LOW PASS** フィルタの場合、選択範囲より下のすべての周波数が通過します。選択範囲を超える周波数は徐々に減少します。

MAIN GEQ メニュー

MAIN GEQ メニューは、さまざまな用途や個人の好みに合わせてスピーカーの周波数特性を調整するために使用します。7 種類の EQ フィルタが利用できます。各フィルタの中心周波数は、63、160、400、1.0K、2.5K、6.0K、12K Hz です。**AUX OUT** が **MAIN MIX** に設定されている場合も、フィルタは **MAIN GEQ** に依存しません。

各フィルタの範囲は -12 dB から +12 dB です。

各フィルタのデフォルト値は **0 dB** です。

FX と FX ENABLE

FX コントロールは、FX センドに適用するエフェクト（リバーブ、コーラス、ディレイなど）を選択するために使用します。FX センドのレベルは、INPUT 1 と INPUT 2 の FX コントロールで個別に制御されます。**FX ENABLE** は、グローバルにエフェクトの **ON** と **OFF** を切り替えます。**FX ENABLE** はフットスイッチで切り替えることができます。

AFS（自動ハウリング抑制機能）

12 バンドの自動ハウリング抑制機能（AFS）を使用すると、マイクやピックアップ付きの機器を使用するときに、不要なハウリング周波数を減らすことができます。ハウリングは、スピーカーからの音をマイクまたはピックアップが拾い、スピーカーがそれを増幅して再び再生することによって発生します。高レベルまたは長期間のハウリングは、聴覚および機器に損傷を与える可能性があります。この選択項目で利用可能なオプションは、**OFF** と **ON** です。

ハウリングの軽減

ハウリングを減らす方法:

1. パフォーマンスに応じて、スピーカー、マイク、楽器を設定します。適切なマイクの配置と使用方法に従ってください。
 - マイクをスピーカーの真正面に置かないでください。マイクのピックアップとリジェクションのパターンについては、マイクのユーザーマニュアルを参照してください。
 - 譜面台、タブレット、またはその他の大きな平面物体をマイクの近くに置かないでください。マイクに音声反射する可能性があります。
 - 話や歌、楽器の演奏などにマイクを使用する場合は、適切なマイク技術で集音し、過度の入力ゲインを避けてください。たとえば、演奏するときにはマイクを口の近くで持ってください。
 - 用途に応じて適切な入力チャンネルの **PRESET** (**LOW CUT 80 Hz**、**LOW CUT 120 Hz**、**VOCAL MIC**、**VOICE FILTER**、**SPEECH**、**ACOUSTIC GUITAR** など) を使用してください。**INPUT DSP** コントロールメニュー、ページ 44 を参照してください。

- 話したり歌ったりしている間は、マイク素子を手で覆わないでください。マイクメーカーの推奨事項に従い、マイクのハンドルまたはボディ部分を握ってください。
- 2. QuickSmart Mobile アプリの DSP コントロールメニューまたは FX セクションで AFS（自動ハウリング抑制機能）を有効にします。これにより、**INPUT 1** と **INPUT 2** の **AFS** が有効になります。
- 3. スピーカーの出力をゆっくりと上げて、マイクや楽器のサウンドチェックを開始します。
- 4. ハウリングが聞こえたら、AFS（自動ハウリング抑制機能）がハウリングを検出して削減するまで数秒間待ちます。
- 5. ハウリングが起こらなくなるまでサウンドチェックを続けます。

MIX OUT メニュー

MIX OUT は、**MIX OUT** から出力する信号と、スピーカーから出力する信号とを選択するために使用します。

- **L+R** - 全入力の左右の信号が合成されます。この合成信号は **MIX OUT** で出力され、スピーカーから音が出ます（デフォルト）。
- **L** - すべての入力のうち、パンニングされた左信号のみが **MIX OUT** から出力されます。スピーカーからは、右信号のみが出力されます。
- **R** - すべての入力のうち、パンニングされた右信号のみが **MIX OUT** から出力されます。スピーカーからは、左信号のみが出力されます。

BLUETOOTH メニュー

BLUETOOTH メニューは、スピーカーの Bluetooth® 機能を設定するために使用します。

ON/OFF - **ON/OFF** メニューは、スピーカーの Bluetooth® 機能を有効/無効にするかを制御します。

CONTROL PAIR - **CONTROL PAIR** メニューは、QuickSmart Mobile アプリのワイヤレスコントロールとモニタリングアプリケーションを有効にするために使用します。ON、OFF のいずれかを選択できます。

デフォルトは **OFF** です。

AUDIO PAIR - **AUDIO PAIR** メニューは、Bluetooth® 対応デバイスから音声を本スピーカーシステムにストリーミングするために使用します。この選択項目で利用可能なオプションは、**PAIRING**、**ON**、**OFF** です。

デフォルトは **OFF** です。

LINK SPEAKERS

LINK SPEAKERS 機能を使用すると、2 台の EVERSE スピーカーを Bluetooth® 経由でリンクして、True Wireless Stereo を実現できます。

2 台の EVERSE スピーカーをリンクする方法:

1. どちらか一方の EVERSE スピーカーを Bluetooth® 経由でモバイルデバイスに接続します。ペアリング手順については、QuickSmart Mobile アプリのペアリング、ページ 18 を参照してください。
2. 両方の EVERSE スピーカーで、メイン DSP メニューの **BLUETOOTH** メニューに移動します。
3. 両方の EVERSE スピーカーで **LINK SPEAKERS** を選択します。
2 台の EVERSE スピーカー間で接続を確立している間は、LCD ディスプレイに「**LINKING SPEAKERS... (スピーカーの接続中...)**」と表示されます。接続が確立されると、メニューに「**UNLINK SPEAKERS (スピーカーの接続解除)**」と表示されます。
LINKING SPEAKERS の下にある **BLUETOOTH** メニューの中に、ステレオチャンネルの選択が表示されます。
4. それぞれの EVERSE スピーカーに、適切なステレオチャンネル (**L**、**R**) を割り当てます。モノラルで使用する場合は、**L+R** を選択します。

注: ステレオイメージは聴衆側から見た L と R です（ハウス L & R）。

LED メニュー

LED メニューは電源オン状態とリミットを示します。この選択項目で利用可能なオプションは、**ON**、**OFF**、**LIMIT** です。

- **ON** - 電源スイッチが ON に設定されていて、システムがスタンバイモードになっていない場合に、LEDをオンにします。
- **OFF** - LED をオフにします。
- **LIMIT** - 通常動作時に LED をオフにします。短い間隔で点滅する LED は、リミットがアクティブであることを示します。短い期間の点滅は、内蔵リミットによって歪みが制御されていることを意味するため、重大ではありません。継続的に点灯している LED は、音声が悪影響を受けていることを示します。LED が継続的に点灯している場合は、詳細について背面 LCD を確認してください。出力ボリュームを下げることを強くお勧めします。

デフォルトは **ON** です。

LCD DIM メニュー

LCD DIM メニューは、ディスプレイで 30 分間操作がなかった場合にディスプレイを暗くするために使用します。**ON**、**OFF** のいずれかを選択できます。

デフォルトは **ON** です。

BRIGHT メニュー

BRIGHT メニューは LCD の明るさを決定するために使用します。

範囲は 1（最も暗い）から 10（最も明るい）です。

デフォルトは **5** です。

CONTRAST メニュー

CONTRAST メニューは、照明条件に基づいて LCD 画面の視認性を上げたり、下げたりするために使用します。

範囲は 1（コントラストが低い）から 10（コントラストが高い）です。

デフォルトは **5** です。

STORE メニュー

STORE メニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を作成できます。この選択項目で利用可能なオプションは、**BACK**、**1**、**2**、**3**、**4**、**5** です。



注記!

カスタムユーザー設定名には、英数字の組み合わせ（スペースを含む）を使用できます。英数字の範囲は、A ~ Z および 0 ~ 9 です。
名前フィールドの長さは 12 文字です。

カスタムユーザー設定の保存

カスタムユーザー設定の保存方法:

1. DSP コントロールメニューから、**STORE** までスクロールします。
2. **MASTER VOL** つまみを押して **STORE** を選択します。
STORE 画面が表示されます。
3. **MASTER VOL** つまみを押して **1** を選択します。
Enter name for 1 画面が表示されます。
4. **MASTER VOL** つまみを使用して文字をスクロールします。
文字が表示されます。
5. **MASTER VOL** つまみを押して、目的の文字を選択します。
6. **MASTER VOL** つまみを回して、次の文字入力部分まで移動します。
必要な名前が入力されるまで、文字の選択を続けます。
7. **MASTER VOL** つまみを使用して **SAVE** までスクロールします。
8. **MASTER VOL** つまみを押して **SAVE** を選択します。
9. その他のカスタムユーザー設定を保存するには、手順 3 - 8 を繰り返します。

10. ホーム画面に戻るには、**EXIT** を選択します。

RECALL メニュー

RECALL メニューを使用すると、最大 5 つのカスタムユーザー設定を取得できます。この選択項目で利用可能なオプションは、**BACK**、**1**、**2**、**3**、**4**、**5** です。加えて、**6** のオプションでデフォルト設定に戻すことができます。この設定はユーザー設定の保存には使用できません。

カスタムユーザー設定の取り消し

カスタムユーザー設定の取り消し方法:

1. DSP コントロールメニューから、**RECALL** までスクロールします。
2. **MASTER VOL** つまみを押して **RECALL** を選択します。
RECALL 画面が表示されます。
3. **MASTER VOL** つまみを押して **1** を選択します。
選択した項目がロードされます。
4. プリセットが読み込まれると、メニューはホーム画面に戻ります。

STANDBY メニュー

バッテリー寿命を延ばすために、一定時間が経過すると、EVERSE スピーカーは **STANDBY** モードに入ります。**STANDBY** メニューを使用すると、スピーカーが **STANDBY** モードに入るまでのアイドル時間（音声または制御信号が存在しない時間）を設定できます。

通常の操作モードに戻る方法:

- ▶ QuickSmart Mobile アプリ経由で、音声信号、BLE 制御信号を送ります。
- または
- ▶ スピーカーのいずれかのボタンを押します。

RESET メニュー

RESET メニューは、本スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。この選択項目に利用可能なオプションは、**NO** または **YES** です。

システムをリセットする

システムを工場出荷時設定にリセットする方法:

- ▶ DSP コントロールメニューから、**RESET** を選択します。
「**DEFAULT SETTINGS? (デフォルト設定にしますか)**」というメッセージが表示されます。
- ▶ **YES** を選択します。
「**ERASE USER PRESETS? (ユーザープリセットを消去しますか)**」というメッセージが表示されます。
- ▶ **YES** を選択します。



注記!

RESET メニューは、スピーカーを工場出荷時設定にリセットするために使用します。

INFO メニュー

INFO メニューはファームウェアのバージョンを表示するために使用します。

参照情報

- エフェクト (FX) リスト, ページ 58

6

6.1

入力とミキサーの操作

INPUT DSP コントロールメニュー

EVERSE スピーカーでは、以下の INPUT DSP コントロールメニューを使用できます。
ミキサーチャンネルの制御方法:

1.
- 入力選択ソフトキーを押して、入力チャンネルを選択します。
チャンネルが選択されると、ソフトキーが点灯します。
2.
- MASTER VOL** つまみを使用してレベルを調整します。
3.
- MASTER VOL** つまみを押して、入力チャンネルの DSP コントロールメニューに入ります。
4.
- 入力選択ソフトキーをもう一度押すと、制御する入力チャンネルの選択が解除されます。
選択が解除されると、ソフトキーは点灯しなくなります。

MIXER モード用 INPUT DSP コントロールメニュー

INPUTS 1 & 2		
LEVEL		0 dB (デフォルト)
		MUTE、-80 dB から +42 dB
	EXIT	
	48V (INPUT 1 のみ)	OFF (デフォルト)
		ON
	PRESET	FLAT (デフォルト)
		LOW CUT 80
		LOW CUT 120
		VOCAL MIC
		VOICE FILTER
		ND76 VOCAL
		RE520
		ND86 VOCAL
		ND86 VOCAL
		SPEECH
		ACOUST GUITAR
		ND66 A-GTR
		ELECTRIC GUITAR
		BASS GUITAR
		PERCUSSION
		LINE INPUT
	COMP	OFF (デフォルト)
		OFF、1 ~ 100
	TREBLE	0 dB (デフォルト)

		-12 dB ~ +12 dB
MID		0 dB (デフォルト)
		-12 dB ~ +12 dB
BASS		0 dB (デフォルト)
		-12 dB ~ +12 dB
FX		0 dB (デフォルト)
		-80 dB から +10 dB
PAN		C (デフォルト)
		10 L ~ 10 R
DUCKER		OFF (デフォルト)
		OFF、-1 から -40
EXIT		

表 6.3: INPUTS 1 & 2 DSP コントロールメニュー MIXER モード

INPUT 3/4			
LEVEL			0 dB (デフォルト)
			MUTE、-80 dB から +42 dB
	EXIT		
	TREBLE		
			0 dB (デフォルト)
			-12 dB ~ +12 dB
	MID		
			0 dB (デフォルト)
			-12 dB ~ +12 dB
	BASS		
			0 dB (デフォルト)
			-12 dB ~ +12 dB
	BAL (ステレオ動作のみ)		
			C (デフォルト)
			10 L ~ 10 R
	BLUETOOTH	BACK	
		BLUETOOTH	ON (デフォルト)
			OFF
		ID (4 桁の固有のデバイス番号)	
		CONTROL PAIR	
		AUDIO PAIR	
		LINK SPEAKERS	

	BACK
EXIT	

表 6.4: INPUT 3/4 DSP コントロールメニュー MIXER モード

BASIC モード用 INPUT DSP コントロールメニュー

INPUTS 1 & 2		
LEVEL		0 dB (デフォルト)
		MUTE、-80 dB から +42 dB
	EXIT	
	48V (INPUT 1 のみ)	OFF (デフォルト)
		ON
	EXIT	

表 6.5: INPUTS 1 & 2 DSP コントロールメニュー BASIC モード

INPUTS 3/4			
LEVEL			0 dB（デフォルト）
			MUTE、-80 dB から +42 dB
	EXIT		
	BLUETOOTH	BACK	
		BLUETOOTH	ON（デフォルト）
			オフ
		ID（4 桁の固有のデバイス番号）	
		CONTROL PAIR	
		AUDIO PAIR	
		LINK SPEAKERS	
		BACK	
		EXIT	

表 6.6: INPUTS 3/4 DSP コントロールメニュー BASIC モード

入力音声の調整

入力音声を調整するときは注意が必要です。通常、サウンド全体として最良の結果を得るためには小さな変更で十分です。

入力音声を調整する方法:

- すべての EQ コントロールを **0 dB** または **FLAT** に設定します。
- EQ コントロールでは、極端な設定は避けてください。
- 自然再生を出発点とし、
- 音楽的感覚を頼りに調整を行います。

INPUT LEVEL コントロール

INPUT LEVEL コントロールは、入力信号の感度をミキサーの内部動作レベルに合わせて調整します。

良好な信号入力レベルを実現する方法:

1. **MASTER VOL** つまみを使って、ボリューム (**VOL**) を **MUTE** に設定します。
2. 入力選択ソフトキーを押して、**MASTER VOL** つまみを使って **INPUT LEVEL** を **MUTE** に設定します。
3. 音源 (マイク、楽器など) を選択した入力に接続します。
4. 予想される最大音量レベルで音源の再生を開始します。マイクに向かってダイレクト (クローズアップ) に、できるだけ大きな声で歌ったり話したりします。
5. 音源の再生中またはマイクでの歌唱中に、以下のように調整します。
 - 入力選択ソフトキーで入力チャンネルを選択し、**MASTER VOL** つまみを使って、**INPUT LEVEL** を上げていき、最も音量が大きいパートでも **CLIP** が表示されないようにします。入力選択ソフトキーをもう一度押して、入力チャンネルの選択を解除します。
 - スピーカーから必要な出力が得られるまで **MASTER VOL** を上げます。以上が基本的なチャンネル設定の方法です。

チャンネルの EQ 設定をさらに調整する必要がある場合は、これらの手順を再度実行します。サウンド形成セクションに変更を加えるとチャンネル全体のレベルに影響が及びます。

48V (INPUT 1 のみ)

+48V DC ファンタム電源は、**INPUT 1** の XLR コネクタでのみ使用できます。ファンタム電源は、DI ボックスやコンデンサマイク (非エレクトレット) などの特定のデバイスに給電するために使用できます。使用前に、装置のユーザーマニュアルを参照してください。TRS コネクタにファンタム電源はありません。ファンタム電源は切り替え可能です。



注記!

ダイナミックマイクやミキサー出力など、ファンタム電源を必要としないソースのファンタム電源はオフにします (デフォルト)。



注記!

ファンタム電源がオンになった状態で、モバイルデバイスを **INPUT 1** に接続しないでください。

プリセット

入力 **PRESET** は、EQ とコンプレッサの設定を調整し、さまざまな入力タイプのサウンドを調整するための開始点として利用できます。

COMP コントロール

COMP コントロールはオンボードコンプレッサを制御し、操作中の入力信号の処理方法を調整できます。コンプレッサは **INPUT 1** と **INPUT 2** で使用できます。

- ▶ **COMP** コントロールを使用して、コンプレッサのしきい値と圧縮比を同時に調整します。

COMP コントロール を 0 ~ 100 まで調整すると、次のように処理が変化します。

- しきい値を下回るゲインは、0dB から +6dB に増加します。
- 圧縮率は 1:1 から 8:1 に増加します。
- コンプレッサは、音声信号のダイナミックレンジをコンプレッサで設定した比率で縮小します。信号が特定のしきい値を超えると、信号は圧縮されます。入力レベルが大幅に変わっても、出力レベルはあまり変わりません。多くの場合、ダイナミックレンジを縮小することによって、音声信号の録音やミキシングが簡単にできるようになります。圧縮を低 ~ 中のレベル (25 ~ 40) から始め、必要に応じて少しずつ増やしていく方法が推奨されます。

TREBLE/MID/BASS コントロール

入力チャンネルの EQ セクションでは、3 つの周波数帯で入力音声信号の多様な調整が可能です。

- **TREBLE** コントロール - シンバルやボーカルの高音を強調して、より透明感のあるサウンドを実現します。
- **MID** コントロール - レベルを下げると、出力を上げ、ハウリングを低減できます。
- **BASS** コントロール - バスドラムの迫力を増したり、ボーカルに重厚感を加えたりすることができます。

FX

FX コントロールは、目的のチャンネルに必要なエフェクトの量を設定する場合に使用します。**FX** コントロールを使用すると、楽器やボーカルにエフェクトを簡単に割り当てることができます。

必要なエフェクトレベルを決定する方法:

1. コントロールを最小に設定します。
2. 必要なサウンドが得られるまで、レベルを個別に徐々に上げていきます。

PAN

PAN コントロールは、ステレオセットアップでステレオ L またはステレオ R スピーカーから出てくる信号の量を調整します。モノラル（シングルスピーカー）セットアップでは、**PAN** は使用しません。

DUCKER

DUCKER は、選択した MIC/LINE 入力（**INPUT 1** または **INPUT 2**）で信号を検出したら、他の入力の信号レベルを下げます。選択した MIC/LINE 入力で信号が検出されない場合、他の入力の信号レベルは以前に設定されたレベルに戻ります。

DUCKER は、バックグラウンドミュージックが流れている中で話するのに役立ちます。

- 選択した MIC 入力で信号を検出したら、他の入力チャンネルの音楽は減少します。
- 選択した MIC 入力で信号が検出されなくなると、音楽は前のレベルに戻ります。

DUCKER を使用する

ダッキング機能の使用方法:

1. **INPUT 1** または **INPUT 2** を選択します（両方選択可能）。
2. **DUCKER** レベルを調節して、選択した入力チャンネルの検出しきい値を設定します。選択した入力で信号が検出されると、他の入力の信号は 12 dB 減少します。通常の値は -10 dB から -20 dB です。

次の表は、**DUCKER** の操作ロジックを説明しています。**DUCKER** 設定は、**INPUT 1** と **INPUT 2** で選択された検出しきい値です。ダッキングチャンネルは、12 dB 減少した入力信号です。

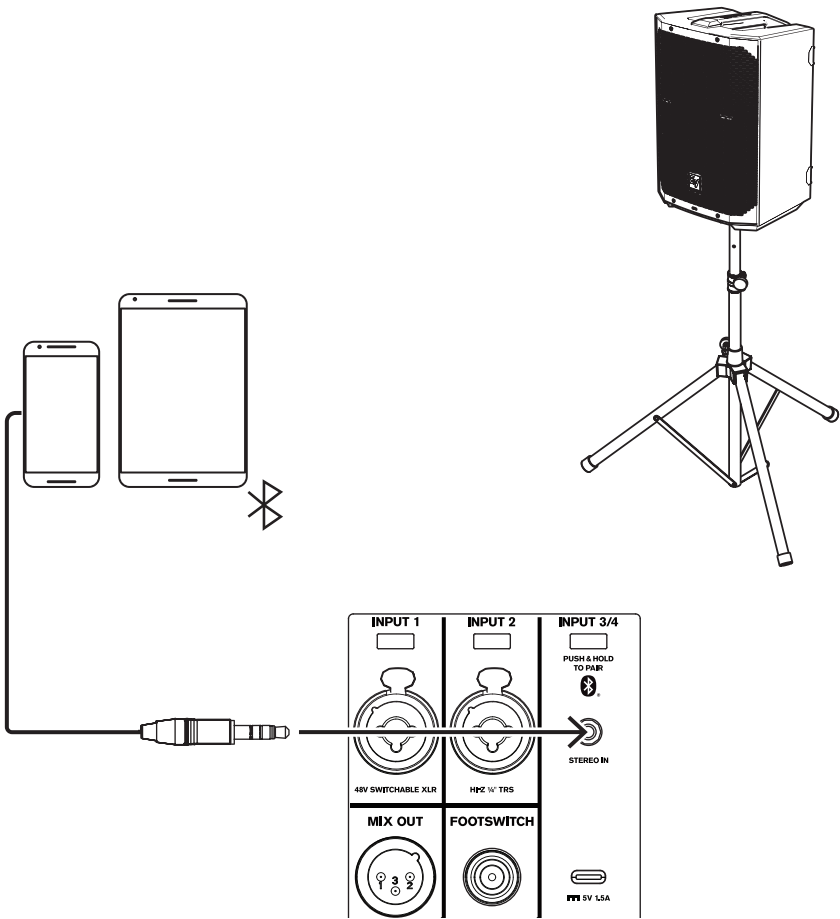
	INPUT 1	INPUT 2	低減されるチャンネル
DUCKER SETTING	-1 dB から -40 dB	オフ	INPUTS 2 & 3/4
	オフ	-1 dB から -40 dB	INPUTS 1 & 3/4
	-1 dB から -40 dB	-1 dB から -40 dB	INPUT 3/4
	オフ	オフ	NONE

7

7.1

推奨構成

モバイルデバイスとの接続



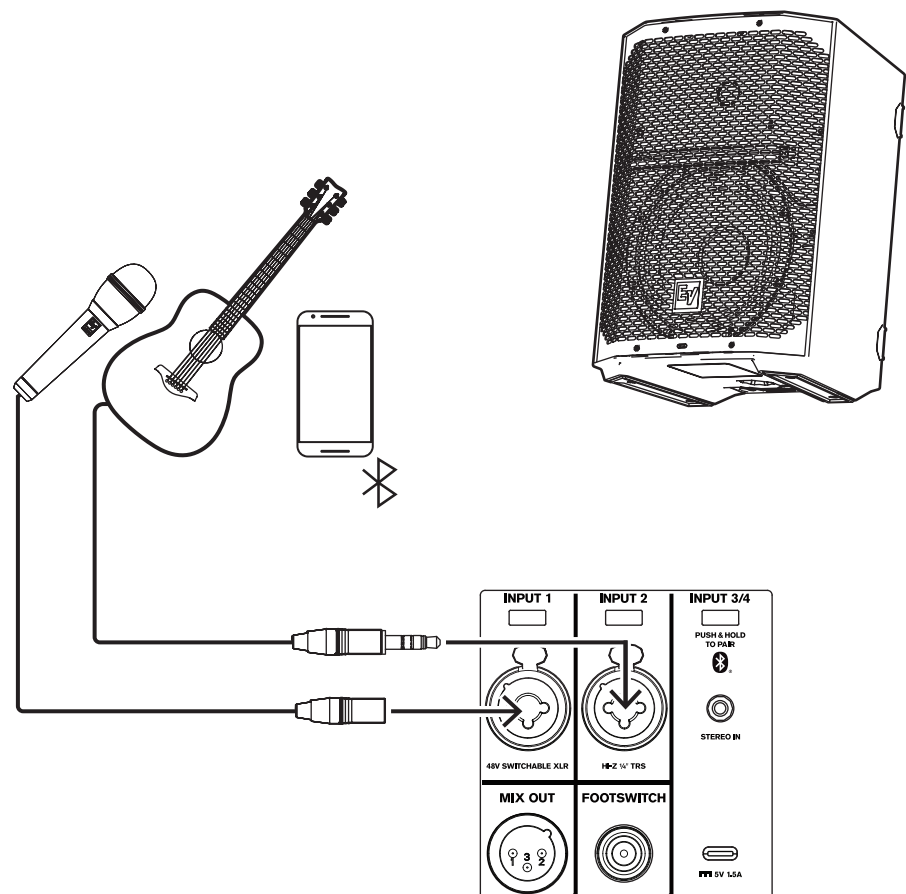
注記!

矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	MUSIC
LOCATION	TRIPOD
SUB	オフ

表 7.7: 三脚に取り付けられたスピーカーの DSP 設定

7.2 ストリートパフォーマンス

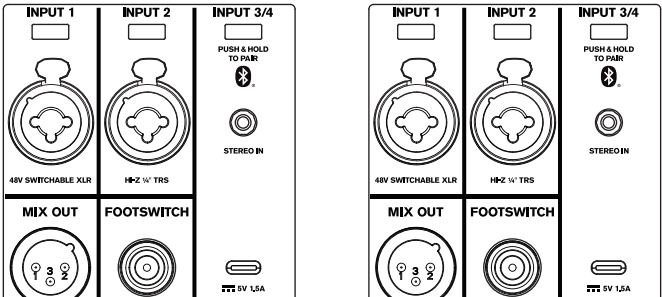
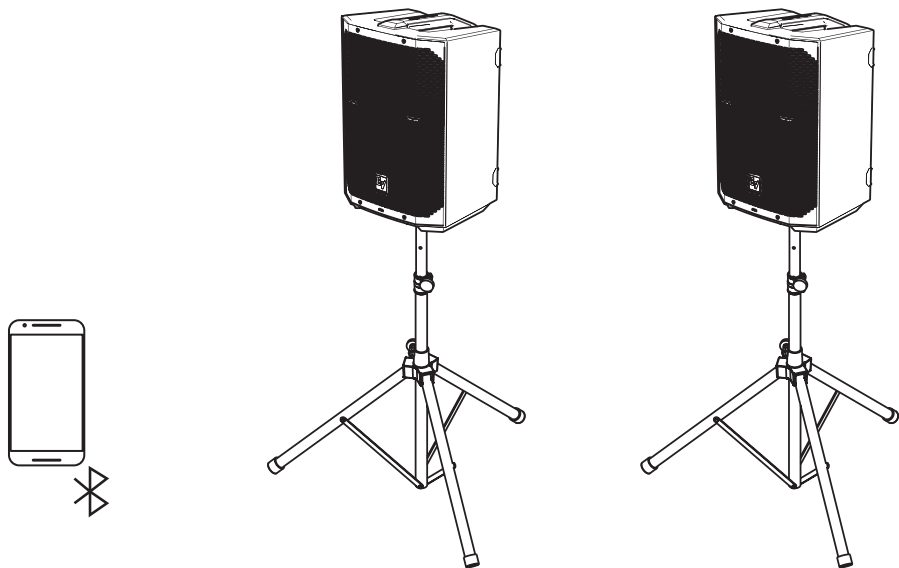


注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	LIVE
LOCATION	KICKBACK
SUB	オフ
INPUT 1 PRESET	ボーカルマイク
INPUT 2 PRESET	ACOUSTIC GTR

表 7.8: キックバック位置においたスピーカーの DSP 設定

7.3 Bluetooth True Wireless Stereo (TWS)



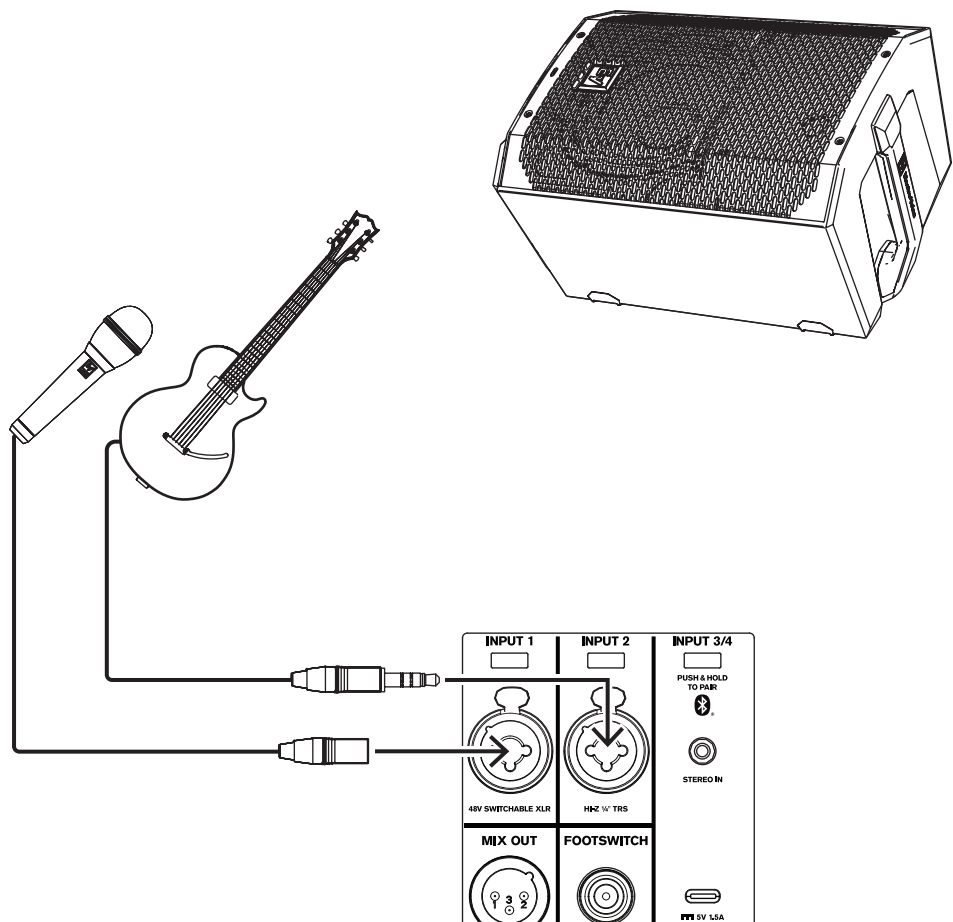
MODE	MUSIC
LOCATION	TRIPOD
SUB	オフ
入力プリセット	NONE

表 7.9: 三脚に取り付けられたスピーカーの DSP 設定

TWS で 2 台のスピーカーを接続する方法:

- 1. Bluetooth® で 1 台のスピーカーをストリーミングデバイスに接続します。
- 2. 両方のスピーカーの **BLUETOOTH** コントロールメニューで **LINK SPEAKERS** を選択します。

7.4 モニターとして使用



注記!
矢印の方向は信号経路を示します。

MODE	LIVE
LOCATION	MONITOR
SUB	オフ
INPUT 1 PRESET	ボーカルマイク
INPUT 2 PRESET	エレキトリックギター

表 7.10: モニターとして使用するスピーカーの DSP 設定

8 トラブルシューティング

症状	考えられる原因	対応策
1. 音が出ない	不正ゲイン	すべてのソースがオンになっていることを確認します。ソースがコンデンサマイクの場合は、マイクが XLR で INPUT 1 に接続されており、メニューでファンタム電源が有効になっていることを確認してください。LCD またはアプリで VU メーターを調べます。VU メーターに信号が存在する場合は、入力およびゲインコントロールを必要なレベルまで上げます。VU メーターに信号がない場合は、配線を確認してください。
	ソースが接続されない	マルチメーターまたはケーブルテスターを使用して、ソースとスピーカーの間のすべてのケーブルを確認します。疑わしいケーブルを正常な動作が確認されているケーブルと交換します。
2. 低域特性が不十分	SUB メニューでクロスオーバー周波数がアクティブになっている	システムでサブウーハーが使用されていない場合は、 OFF 位置を選択します。
	SPEECH モードがアクティブ	DSP コントロールメニューで、 MODE を MUSIC 、 LIVE 、 CLUB のいずれかに変更します。詳細については、 <i>DSP コントロール</i> , ページ 32 を参照してください。
	入力 PRESET が FLAT に設定されていない	INPUT DSP コントロールメニューで、 PRESET を FLAT に変更します。詳細については、 <i>INPUT DSP コントロールメニュー</i> , ページ 44 を参照してください。
	EQ がアクティブ	INPUT および DSP コントロールメニューで、低周波数のすべての EQ をリセットします。詳細については、 <i>DSP コントロール</i> , ページ 32 および <i>INPUT DSP コントロールメニュー</i> , ページ 44 を参照してください。
3. 断続的なパチパチというノイズやひずみ雑音がある	接続不良	スピーカーのすべての接続をチェックし、ケーブルに汚れがなくしっかりと接続されていることを確認してください。問題が解決しない場合は、配線をチェックします。問題 1 を参照してください。
4. ブーツ、シューツ、ブーンといったノイズが絶えず鳴る	音源またはその他の電子機器の不具合	何も再生していないのにノイズが解決しない場合、必要に応じて各コンポーネントを調べ、問題を特定してください。おそらく電子機器の信号チェーンに原因があります。
	システムのグラウンドが不適切、またはグラウンドループが発生している	必要に応じてシステムグラウンドをチェックし、修正してください。
	入力ゲインがマイクレベルではない	INPUT LEVEL をゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
	モバイルデバイスが、USB と 3.5 mm ジャックを介して同時に接続されている	ノートパソコンや携帯電話などの一部のモバイルデバイスでは、スピーカーを 3.5 mm オーディオ入力ジャックを介して接続した状態で、同時にモバイルデバイスを充電した場合

症状	考えられる原因	対応策
		に、グラウンドループが発生する可能性があります。Bluetooth® 経由でオーディオを接続するか、USB ジャックから外してください。
5. INPUT 1 または INPUT 2 に接続されたマイクの音が出ない	マイクにファンタム電源が必要です。	ファンタム電源を必要としないダイナミックマイクを使用してください。ファンタム電源が必要なマイクを使用している場合は、XLR コネクタを介して INPUT 1 に接続し、ファンタム電源を有効にします。詳細については、 INPUT DSP コントロールメニュー 、ページ 44 を参照してください。
	入力ゲインが低すぎる	入力ゲインノブレベルをゆっくり上げ、マイクプリアンプを有効にします。
6. 音が歪んでいる、フロント LED が消えている、LCD 画面に LIMIT が表示されている	INPUT LEVEL が高すぎる	INPUT LEVEL またはスピーカーのレベルのつまみを下げ、限界を避けます。
	ゲイン構造が正しくない、またはソース入力（ミキシングコンソール/プリアンプ）が暴走している	LCD 画面上の VU メーターインジケータを使用して、ソースのレベルコントロールが正しい構造になっていることを確認します。VU メーターバーが動かなくなっている、またはシステムが LIMIT を示している場合、入力またはソースレベルが高すぎます。
7. INPUT LEVEL を増幅したときにマイクがハウリングを起こす	自動ハウリング抑制機能が OFF	DSP コントロールメニューで自動ハウリング抑制機能を有効にします。詳細については、 DSP コントロール 、ページ 32 を参照してください。
	ゲイン構造が正しくない	ミキシングコンソールまたは入力ソースのマイクレベルを下げます。マイクがスピーカーに直接接続されている場合は、スピーカーの INPUT LEVEL を下げます。マイクを音源の近くに置くと、フィードバック前のゲインが増加します。問題 6 を参照してください。
	MODE が MUSIC に設定されている	MODE を LIVE または SPEECH に変更します。
	マイクの位置がスピーカー前面に近すぎる	可能な限り、スピーカーがマイクより前にくるようにセットアップしてください。スピーカーをモニタ位置で使う場合は、スピーカーをマイク背面に向けて下さい。
8. DSP コントロールメニューがロックされている	メニューの LOCK 機能がオンになっています。ロック記号が LCD 画面に表示されます。	ロックを解除するには、 MASTER VOL つまみか入力選択ソフトキーを押します。
9. QuickSmart Mobile アプリがスピーカーを検出しない	Bluetooth® を有効にする	ラウドスピーカーで Bluetooth® が有効になっていることを確認します。位置情報サービスが有効になっていることを確認します（Android の場合）。デバイス設定で iOS または Android からスピーカーを削除します（削除は「FORGET」と呼ばれることもあります）。ペアリングを再開します。 スマートフォンまたはタブレットに必要な OS バージョンと最新のアップデートがインストールされていること、最新の

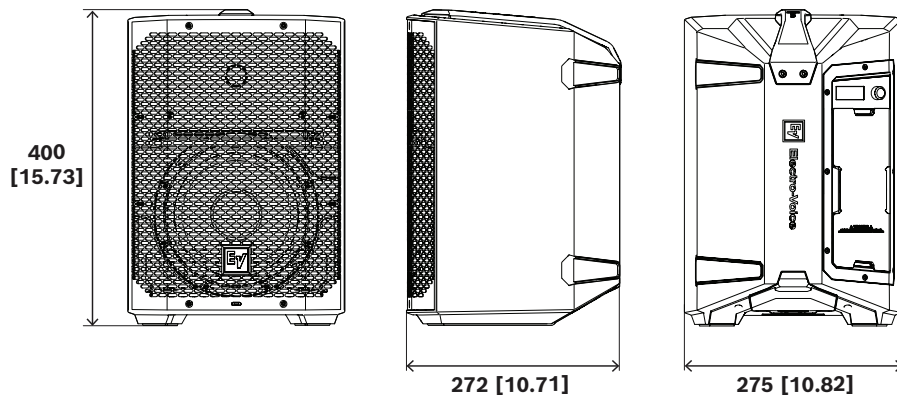
症状	考えられる原因	対応策
		QuickSmart Mobile アプリがインストールされていること、他の携帯電話やタブレットが同じスピーカーに接続されていないことを確認します。
10. 操作や電源の入れ直しを行っても、スピーカーが反応しない	予期しない内部処理の失敗	メインとバッテリーを取り外し、バッテリーをスピーカーに戻します。 または INPUT 1 と INPUT 2 のソフトキーを少なくとも 10 秒間押し続けます。
上記の対策を講じても問題を解決できない場合は、購入元の Electro-Voice 販売店または Electro-Voice 代理店にお問合わせください。		

9 テクニカル データ

EVERSE8-EU 8 インチ 2 ウェイスピーカーと EVERSE8-US 8 インチ 2 ウェイスピーカー

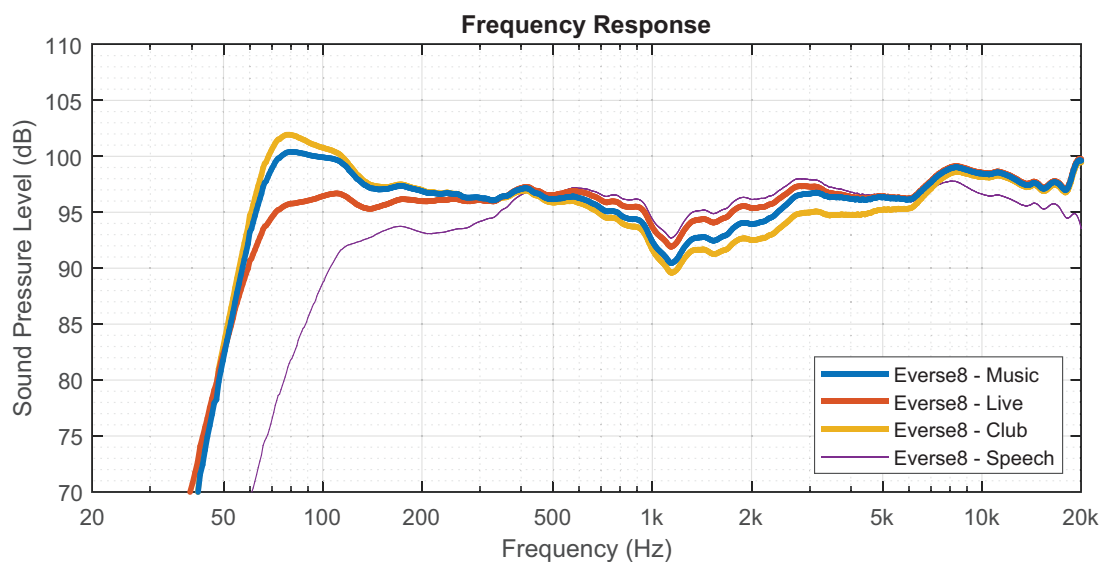
周波数特性 (-3 dB) ¹ :	60 Hz ~ 20 kHz
周波数レンジ (-10 dB) ² :	50 Hz ~ 20 kHz
最大 SPL ³ :	121 dB
指向角度 (水平 x 垂直) :	100° x 100°
アンプ定格:	400 W
LF トランスデューサー:	8 インチウーハー - フェライト磁石
HF トランスデューサー:	1 インチのチタンドーム、ネオジム磁石、フェロ流体冷却
クロスオーバー周波数:	2.5 kHz
入力コネクタ:	XLR/TRS コンボ x 2 3.5 mm ステレオ x 1 充電ポート x 1 TRS フットスイッチ x 1 DC 12 V 電源出力 x 1
筐体:	ポリプロピレン
グリルの材質:	粉体塗装鋼
USB 充電:	最大 1.5 A、デバイスに依存
色:	黒と白
寸法 (高さ x 幅 x 奥行):	400 mm x 275 mm x 272 mm (15.75 インチ x 10.83 インチ x 10.71 インチ)
本体重量:	7.6 kg (16.8 lb)
梱包重量:	11 kg (24.3 lb)
消費電力 ⁴ :	100 ~ 240 V、50 ~ 60 Hz、0.8 ~ 0.6 A
バッテリー容量:	86.4 Wh
バッテリー稼働時間 (最大出力時) ⁵ :	6 時間以上
バッテリー稼働時間 (中程度の出力時) ⁶ :	12 時間以上
¹ DSP プリセット MUSIC を使用したフルスペース測定。 ² ハーフスペース測定。 ³ 最大 SPL は最大出力時、ブロードバンドのピンクノイズを発生させて 1 メートル離れた場所で測定。 ⁴ 定格電流は 1/8 出力時。 ⁵ スピーカーのリミット表示が点灯する前の最大出力。一般的なプログラム素材を使用。 ⁶ 中程度の出力とは約 95 dB SPL を指す。一般的なプログラム素材を使用。	

9.1 寸法



mm [in]

9.2 周波数特性



10

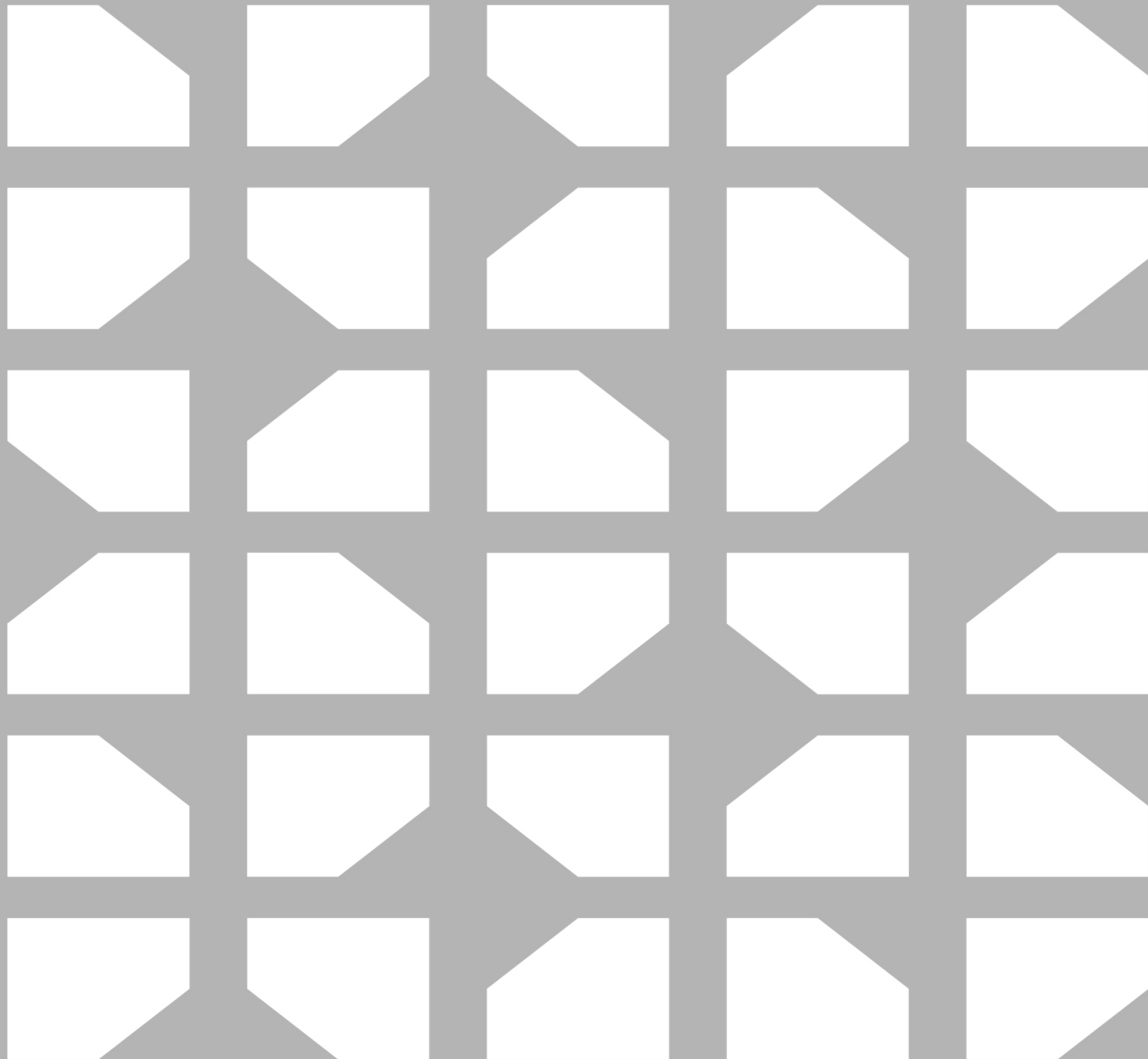
付録

10.1

エフェクト (FX) リスト

注: 予告なしに変更
される場合があります。

番号	名前アプリ	名前 LCD
0	OFF	OFF
1	Echo+ReverbShort	ECHO+REVERB S
2	Reverb Room	REV ROOM
3	Reverb Concert Hall	REV CONCERT
4	Reverb Large Hall	REV HALL
5	Reverb Church	REV CHURCH
6	Reverb Room Soft	REV ROOM S
7	Reverb Concert Hall Soft	REV CONCERT S
8	Reverb Large Hall Soft	REV HALL S
9	Reverb Church Soft	REV CHURCH S
10	Reverb Cathedral Soft	REV CATHEDRAL S
11	Reverb Plate Medium	PLATE MEDIUM
12	Reverb Plate Long	PLATE LONG
13	Reverb Plate Medium Soft	PLATE MEDIUM S
14	Reverb Plate Long Soft	PLATE LONG S
15	Reverb+ChorusSlow	REV+CHORUS SLOW
16	Reverb+ChorusMedium	REV+CHORUS MEDIUM
17	Reverb+ChorusFast	REV+CHORUS FAST
18	Delay Short	DELAY SHORT
19	Delay Long	DELAY LONG
20	Delay Tap	DELAY TAP
21	Chorus Slow	CHORUS SLOW
22	Chorus Medium	CHORUS MEDIUM
23	Chorus Fast	CHORUS FAST
24	Chorus+Echo Slow	CHORUS+ECHO S
25	Chorus+EchoMedium	CHORUS+ECHO M
26	Chorus+Echo Fast	CHORUS+ECHO F
27	Slap Back+EchoSlow	SLAPBACK+ECHO S
28	Slap Back+EchoFast	SLAPBACK+ECHO F
29	Doubling Narrow	DOUBLING NARROW
30	Doubling Wide	DOUBLING WIDE



F01U401530

Bosch Sicherheitssysteme GmbH **Bosch Security Systems, LLC**

Robert-Bosch-Ring 5

85630 Grasbrunn

Germany

www.boschsecurity.com

© Bosch Sicherheitssysteme
GmbH, 2022

12000 Portland Avenue South

Burnsville MN 55337

USA

www.electrovoice.com

© Bosch Security Systems,
LLC, 2022